

令和2年度
敦賀市教育委員会の自己点検・評価報告書

(令和3年9月)
敦賀市教育委員会

— 目 次 —

はじめに	1
敦賀市教育大綱（概要版）	2
総合計画数値目標との比較	3
＜各課（まとめ）＞	
教育総務課	4
学校教育課	1 2
○給食センター	2 7
生涯学習課	3 0
○図書館	3 8
○プラザ萬象	4 3
○少年愛護センター	4 5
○少年自然の家	4 7
文化振興課	4 9
○博物館	5 5
○みなとつるが山車会館	5 9
スポーツ振興課	6 1
○総合運動公園	6 1
外部の知見	
○福井県立大学学術教養センター 黒田祐二 …	7 3
○福井県立大学経済学部 桑原美香 …	7 6
(巻末)	
敦賀市教育委員会事務の自己点検・評価（マニュアル）	8 0

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成20年度から教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、自己点検・評価を実施するよう規定され、本市教育委員会においても、事務局の各部署の事務について実施しております。

このたび令和2年度分の自己点検・評価の報告書を作成いたしました。評価方法は、各部署において執行している事務について、予算の項目ごとに評価しました。従って、報告の形式は、各部署の管理し執行する事務、中でも注視すべき事務を評価項目に加え「事業名」とし、管理執行した事務は「取組み状況と成果」に記載し、これに基づき「成果の分析と評価」をいたしました。

「評価」は「有効性」、「効果性」、「効率性」をそれぞれ、アルファベットのA「前進」、B「維持」、C「後退」の三段階で表わしました。

「今後の方向」は①継続、②完了、③拡大、④縮小、⑤転換、⑥中止の6項目で表しました。

「分類」は教育委員会が執行する事務がどのように法令等に基づいているかを分類したものです。

自己点検・評価に際しては、外部の知見を活用するため、事業ごとに評価調書を作成のうえ、学校評価に見識をお持ちの福井県立大学学術教養センター 黒田祐二先生、地方財政に見識をお持ちの福井県立大学経済学部 桑原美香先生のお二人にご意見をいただきました。

また、第6次総合計画後期基本計画の数値目標については、その達成状況と分析に努め、人事・組織の見直し、予算の計上・削減、事務の改善・廃止等に活かしていきたいと考えております。



敦賀市教育大綱（概要版）

－教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策－

教育目標 ふるさと敦賀を愛し、知性に富み、心豊かで、健康な人の育成

基本理念

「白砂青松」の地である敦賀を愛し、郷土の発展に貢献する活力ある人材を育成するため、家庭・学校・地域が一体となって、先人が築き上げた伝統を受け継ぎ、「人道の港」敦賀ならではの魅力ある教育を推進する。



ふるさと敦賀の花「はぎ」

基本方針

(1) 学校教育の充実

- 施策 ① 学びの芽生えを育む幼児教育の推進
- 施策 ② 自ら考え、行動する力を身に付ける教育の推進
- 施策 ③ 社会のグローバル化に対応できる外国語教育の推進
- 施策 ④ 個々のニーズに合わせた特別支援教育の推進
- 施策 ⑤ 健やかな体の育成を目指した健康・安全教育の推進
- 施策 ⑥ いじめや不登校を予防し、防止する生徒指導体制の推進
- 施策 ⑦ 児童・生徒数や社会の変化に対応した学校の整備
- 施策 ⑧ 社会の変化に応じた教育活動を行うための教職員の資質及び指導力の向上



ふるさと敦賀の木「まつ」



ふるさと敦賀の鳥「ユリカモメ」

(2) 社会教育の充実と活性化

- 施策 ⑨ 活力ある地域社会の形成
- 施策 ⑩ 社会的な課題に対応する生涯学習の推進
- 施策 ⑪ 社会教育施設の整備・充実
- 施策 ⑫ 地域等と連携した青少年の健全育成

(3) 文化の振興・支援

- 施策 ⑬ 文化意識の向上
- 施策 ⑭ 市民文化の活動拠点の整備・充実
- 施策 ⑮ 文化財の保護・支援
- 施策 ⑯ 文化財の活用の推進

(4) スポーツの振興及び推進

- 施策 ⑰ 国体開催を契機としたスポーツの振興
- 施策 ⑱ 生きがいと健康づくりとしてのスポーツの振興
- 施策 ⑲ 人のつながりを再生するスポーツ交流の推進
- 施策 ⑳ スポーツ施設の整備



敦賀市公認キャラクター「よっしー」

第6次敦賀市総合計画 後期基本計画の数値目標との比較

第5章 心豊かな人を育むまちづくり

基本計画		実施計画			
名称	基本的な方向性	名称	成果指標		
			内容	R2年度末数値	目標年度(R2)
第1節 人材育成の充実	(1)幼稚園教育の充実	公立幼稚園改善計画	幼稚園児数	57人	120人
		小中学校施設充実化計画	快適かつ安心安全な学習環境の実現	—	実現
	(2)義務教育の充実	敦賀市「知・徳・体」充実計画	角鹿中学校を中心とする小中一貫校の設立	—	事業着手
		次世代学校給食あり方検討計画	学校給食センターのあり方に関する方針	—	事業着手
	(4)青少年の健全育成	青少年健全育成計画	愛の一声運動の人数	429人	1,400人
第2節 社会教育の活性化	(1)多機能性を活かした地域づくり拠点の形成	生涯学習推進計画	公民館活動への参加者数	37,741人	70,000人
		生涯学習施設維持管理計画	生涯学習施設の利用者数	79,144人	130,000人
	(2)集客性を活かしたまちづくりの拠点の形成	図書館利用促進計画	図書館利用者数	141,030人	230,000人
	(3)文化・芸術の振興と文化財等の保護及び活用	文化活動推進計画	文化行事参加者数	10,812人	33,800人
		文化財整備活用計画	指定・登録文化財数	215件	209件
		博物館郷土文化力向上計画	見学者アンケートの満足度(%)	96	90
		文化活動拠点維持管理計画	山車会館利用者数	4,242人	19,300人
第3節 スポーツの振興	(1)福井しあわせ元気国体における敦賀市開催方針の実現	福井しあわせ元気国体推進計画	国体の開催	—	実現
	(2)福井しあわせ元気国体後のフォローアップの展開	競技レベル向上推進計画	各事業の参加者数	1,078人	4,200人
	(3)健康づくりとしてのスポーツの振興	コミュニティスポーツ推進計画	各事業の参加者数	798人	5,500人
		生涯スポーツ推進計画	各事業の参加者数	874人	7,750人
	(4)スポーツ施設の整備	スポーツ施設維持管理計画	地区体育館等のスポーツ施設の総利用者数	216,203人	440,000人

※実施計画の数値指標を満足度で表すものは除く。

教育総務課 自己点検・評価報告書（まとめ）

教育総務課では、学校施設の管理・整備に関することを担っており、特に、令和2年度末には、福井県内の公立学校で初めてとなる施設一体型小中一貫校「角鹿小中学校」の校舎新築工事を完了させ、令和3年4月に無事開校することができました。

また、教育委員会事務局各課の連絡調整のほか、教育委員会の会議及び総合教育会議の運営や、本市の教育行政の大きな方針を示した「敦賀市教育大綱」及び、より具体的な施策を定めた「敦賀市教育振興基本計画」の推進に取り組んでいます。

教育委員会の運営について

教育委員会を毎月開催し、各種議案の審議を滞りなく行うとともに、各事業に対する意見聴取を行い、その方針を決定しています。

また、「敦賀市教育振興基本計画」の進捗管理や各教育分野の諸課題について対応するとともに、第2期計画の策定にあたっては委員の意見を十分反映するよう努めました。

教育委員会事務局職員の人事について

教育委員会事務局には、学校勤務の調理員・用務員等を含む約230名の会計年度任用職員が勤務しています。令和2年度は、新型コロナウイルスに感染した場合などに対応するため、職員の処遇を担当する総務部総務課と連携し、休暇取得手続きなどが円滑に進められるよう努めました。

小中一貫校整備事業について

令和元年度に引き続き、角鹿小中学校校舎新築工事を行いました。工事期間中は、新型コロナウイルス対策による作業時間及び作業人員の制限や1月の大雪の影響により工程が非常に厳しい状況となりましたが、工事施工者、監理者、学校、市が一致団結し、工期短縮を図ることで令和3年3月完成、4月開校を実現しました。

また、備品については統合4校の既存備品を極力有効活用しながら、工事の工程と学校のスケジュールを調整し、令和2年度の学校活動に支障がでないよう移転計画を進めるとともに各既存校舎に残置される物品や文書等の廃棄作業、契約の見直しを同時並行で行いました。

統合により廃校となった3小学校については、歴史と伝統を地元や保護者と共有しながら、閉校式や実行委員会主催の閉校記念事業を滞りなく行うことができました。

令和3年度はサブアリーナ・児童クラブ新築工事、メイングラウンド整備工事、駐車場整備工事、令和4年度はサブグラウンド整備工事など開校後の2期工事が続いたため、周辺住民への説明、負担軽減を図るとともに、工事車両と児童生徒の動線の区分や学校行事との調整等、児童生徒の安全確保を第一に進めます。

学校施設の整備、管理運営及び備品等の購入について

学校施設の整備については、市内の小中学校の校舎、体育館のほとんどが同時期に建設され、いずれも老朽化が目立つ状況となっています。今後一斉に更新時期を迎えようとしていますが、全ての工事を一度に実施することは不可能なことから、令和2年度末に策定した「学校施設長寿命化計画」をベースに、毎年行う現場視察の結果もあわせて優先順位をつけ、計画的に整備を進めていきます。

備品等の購入については、毎年度学校の要望を把握した上で学校全体の優先順位をつけ、限られた予算を有効に活用し行っています。今後も計画的に整備を進めていくとともに、廃校となった3小学校の既存備品も有効活用しながら、教育環境の充実を図っていきます。

教育総務課

【教育総務課の事務分掌】

- (1) 教育委員会の会議に関すること
- (2) 公印の保管に関すること
- (3) 事務局、学校その他教育機関の職員(県費負担教職員を除く。)の人事に関する
こと
- (4) 職員の身分・サービス及び給与の負担行為に関すること
- (5) 学校の設置・管理及び改廃に関すること
- (6) 学校教育の用に供する財産の管理に関すること
- (7) 学校の施設及び設備(備品を含む。)の整備に関すること
- (8) 教育委員会の所轄に属する財産(教育財産を除く。)の管理に関すること
- (9) 教育目的のための基本財産及び積立金の管理に関すること
- (10) 教育委員会規則の制定又は改廃に関すること
- (11) 教育財政に係る調査及び統計に関すること
- (12) 事務局内の取締り及び庁内管理に関すること
- (13) 文書の收受、浄書・発送及び保管に関すること
- (14) 市長・市議会及び市の各課(室)との連絡に関すること
- (15) 県教育委員会その他の教育委員会及び事務局各課(室)との連絡調整に関する
こと
- (16) 職員の研修及び福利・厚生に関すること
- (17) 教育行政に関する相談に関すること
- (18) 前各号のほか他課に属しない事項

【教育委員の氏名】

教育長	上野 弘
教育長職務代理者	神谷 敬一郎
委員	岸本 松則
委員	中宮 智子
委員	堺 啓輔

【自己点検・評価】

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類									
教育委員会の開催	<p>令和2年4月から令和3年3月までに12回の教育委員会を開催し、次の事項について審議しました。</p> <p>○令和2年第4回教育委員会(4月15日)報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回教育委員会議事録の件 ・共催、後援事業13件 ・寄附採納の件1件 <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2・3年度敦賀市スポーツ推進委員委嘱の件 ・敦賀市少年愛護センター補導員 解嘱の件 	<p>議案はすべて順調に審議され、委員会の運営の効率化を図ることができました。</p>	<table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">有効性</td> <td style="padding: 2px;">A</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">効果性</td> <td style="padding: 2px;">A</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">効率性 (コスト)</td> <td style="padding: 2px;">B</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">効率性 (人員)</td> <td style="padding: 2px;">B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	I-1
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

<ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市文化芸術事業企画審査委員会委員委嘱の件 ○令和2年第5回教育委員会（5月8日） 報告事項 ・第4回教育委員会議事録の件 ・共催、後援事業4件 審議事項 ・令和2年度敦賀市教育支援委員会委員委嘱の件 ・令和2年度学校評議員委嘱の件 ・敦賀市スポーツ振興審議会委員 変更任命の件 ○第6回教育委員会（6月2日） 報告事項 ・第5回教育委員会議事録の件 ・寄附採納の件1件 ・共催、後援事業2件 ・コロナウイルス関連専決補正予算・令和2年度6月補正予算の件 審議事項 ・令和2年度夏季休業期間中の授業日設定の件 ・敦賀市学校業務改善方針改訂の件 ・令和2・3年度敦賀市社会教育委員委嘱の件 ・敦賀市公民館運営審議会委員委嘱の件 ・令和2・3年度敦賀市少年愛護センター運営委員会委員委嘱の件 ・令和2・3年度敦賀市少年愛護センター補導員委嘱・解嘱の件 ・敦賀市立少年自然の家運営協議会委員委嘱の件 ○第7回教育委員会（7月1日） 報告事項 ・第6回教育委員会議事録の件 ・寄附採納の件4件 ・後援、共催事業7件 審議事項 ・敦賀市学校業務改善方針改訂の件 ・令和2年度休業期間中の授業日設定の件 ・令和2・3年度敦賀市少年愛護センター補導員委嘱・解嘱の件 ○第8回教育委員会（8月4日） 報告事項 ・第7回教育委員会議事録の件 ・寄附採納の件4件 ・共催、後援事業4件 審議事項 ・令和2・3年度敦賀市少年愛護センター補導員委嘱・解嘱の件 ・令和2年度福井県義務教育諸学校教科用図書採択決議の件 ・敦賀市文化財保護審議会委員委嘱の件 ○第9回教育委員会（8月24日） 報告事項 ・第8回教育委員会議事録の件 ・共催、後援事業5件 ・令和2年度8月専決補正予算、令和2年度9月補正予算の件 審議事項 なし ○第10回教育委員会（10月9日） 報告事項 ・第9回教育委員会議事録の件 				
---	--	--	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・寄附採納の件 1 件 ・共催、後援事業 3 件 審議事項 ・令和 2 年度教育委員会表彰規程に基づく被表彰候補者の件 ・敦賀市指定文化財の指定について市文化財保護審議会に諮問する件 ・敦賀市立博物館協議会委員委嘱の件 ・史跡金ヶ崎城跡保存整備委員会委員委嘱の件 ○第 1 1 回敦賀市教育委員会（1 1 月 6 日） 報告事項 ・第 1 0 回教育委員会議事録の件 ・共催、後援事業 6 件 審議事項 ・敦賀市指定文化財の指定の件 ○第 1 2 回敦賀市教育委員会（1 1 月 2 7 日） 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 1 回教育委員会議事録の件 ・共催、後援事業 3 件 ・令和 2 年度 1 2 月補正予算の件 審議事項 なし その他 第 2 期敦賀市教育振興基本計画（案）の件 ○令和 3 年第 1 回敦賀市教育委員会（1 月 8 日） 報告事項 ・第 1 2 回教育委員会議事録の件 ・共催、後援事業 4 件 審議事項 ・敦賀市スポーツ推進委員委嘱・解嘱の件 その他 第 2 期敦賀市教育振興基本計画（案）の件 ○令和 3 年第 2 回敦賀市教育委員会（2 月 2 日） 報告事項 ・第 1 回教育委員会議事録の件 ・共催、後援事業 2 件 審議事項 なし その他 第 2 期敦賀市教育振興基本計画（案）の件 ○令和 3 年第 3 回敦賀市教育委員会（2 月 1 9 日） 報告事項 ・第 2 回教育委員会議事録の件 ・寄附採納の件 3 件 ・共催、後援事業 7 件 ・令和 2 年度 3 月補正予算・令和 3 年度当初予算の件 審議事項 なし その他 第 2 期敦賀市教育振興基本計画（案）の件 												
<p>専門委員等の委嘱及び任命等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市スポーツ推進委員 2 5 名委嘱 任期：令和 2 年 4 月 1 5 日～ 令和 4 年 3 月 3 1 日 ・敦賀市スポーツ推進委員 1 名委嘱 任期：令和 3 年 1 月 8 日～ 令和 4 年 3 月 3 1 日 ・敦賀市文化芸術事業企画審査委員会委員 5 名委嘱 	<p>委員の適格・適任について審議し、委嘱及び任命しました。 その際に、各種関係機関、団体との連携や専門的な知識が必要とされることを</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">有効性</td> <td style="width: 50%;">A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続</p>	<p>I - 1</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

	<p>任期：令和2年5月1日～ 令和3年3月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市教育支援委員会委員36名委嘱 <p>任期：令和2年4月1日～ 令和3年3月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員133名委嘱 <p>任期：令和2年4月1日～ 令和3年3月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市社会教育委員12名委嘱 <p>任期：令和2年6月1日～ 令和4年5月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市公民館運営審議会委員45名委嘱 <p>任期：令和2年6月1日～ 令和4年5月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市少年愛護センター運営委員会委員9名委嘱 <p>任期：令和2年6月1日～ 令和4年5月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市少年愛護センター補導員34名変更委嘱 <p>任期：令和2年7月1日～ 令和3年5月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市少年愛護センター補導員13名委嘱 <p>任期：令和2年7月1日～ 令和4年5月31日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市立少年自然の家運営協議会委員3名変更委嘱 <p>任期：令和2年7月1日～ 令和3年6月30日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市文化財保護審議会委員1名委嘱 <p>任期：令和2年8月5日～ 令和3年4月30日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市立博物館協議会委員1名委嘱 <p>任期：令和2年11月1日～ 令和3年6月16日</p>	重視しました。											
<p>条例・規則等の制定及び改正</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・敦賀市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 ・敦賀市立図書館運営規則の一部を改正する規則 ・押印を求める手続きの見直しに伴う関係規則の整備に関する規則 	委員の任命基準の設定や法律変更等に伴う関係条例等の制定及び改正を行いました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	I-8
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
<p>校舎等改良及び補修工事</p>	<p>各学校に必要な補修工事を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敦賀西小学校プールろ過機補修工事 ・粟野中管理棟屋上防水工事、松陵中体育館屋根塗装改修工事 <p>粟野南小学校普通教室床塗装改修工事は、コロナの影響により未実施となりました。</p>	いずれも、老朽化対応に伴う改修であるため早急に対処しました。コロナの影響により未実施となった工事については翌年度に実施予定です。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II-5 II-6
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
<p>小学校給排水設備改修事業</p>	<p>松原小学校の東側児童トイレの洋式化を実施しました。</p>	計画的に工事を進め、学校環境の改善が図られました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	A	①継続	II-5 II-6
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	A												

非構造部材耐震補強事業	粟野南小学校体育館の外壁のクラック補修及びモルタル浮き部へのエポキシ樹脂注入、吹付改修を実施しました。	計画的に工事を進め、児童の安全確保や避難所としての機能を確保できました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	A	①継続	Ⅱ-5 Ⅱ-6
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	A												
教育振興備品の購入	予算を各学校に配分し、各学校の要求に優先順位を付け、必要な教材備品を購入しました。購入時期は、利用の期日に合わせ適切に設定しました。 また、必要な中学校のプラスバンドの備品、理科振興備品及び特別支援学級の備品等を適正に整備しました。	各学校と綿密に協議し、要求に添うよう対応することで、良好な教育環境の充実に図ることができました。教育活動に必要な備品が整備でき、学習効果を高めることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ-5
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
教育功勞者の表彰	敦賀市の教育行政に功勞のあった個人及び団体に対し、功勞賞及び奨励賞を授与しました。 表彰式：令和2年11月9日実施 受賞者： 教育功勞賞 敦賀市文化協会 教育功勞賞 つるがの山車保存会 教育奨励賞 奥村 孝之 (中央小学校教諭) 文化奨励賞 NPO 法人 つるがみこしの会 計 団体3団体 個人1名	教育功勞者の選定、表彰式とも計画的に実施できました。表彰対象となり得る個人や団体に関して早期から情報収集することにより、潜在者の掘り起こしに努めました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	I-16
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
教育委員会事務事業評価	令和元年度教育委員会事務の自己点検・評価を実施し、9月議会へ報告書を提出しました。	所管事務の評価により改善点の発見につながりました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	I-17
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
学校管理運営	学校施設の保守管理として廃棄物処理や、設備等の法定点検にかかる各種委託事業を実施しました。 また、各学校の電気、水道料金等の光熱水費を支払いました。 管理運営に必要な消耗品の購入や小修繕に必要な経費は、予算を年度当初に各学校に配分し、その範囲で必要な消耗品等の購入や修繕を実施しました。 また、各学校の要求に優先順位を付け、必要な管理用備品を購入しました。購入時期は、利用の期日に合わせ適切に設定しました。	学校施設の良好な管理運営を図るため、法定点検等の委託を、安全・安心の観点から適切に計画どおり実施できました。 また、各学校へ予算を配分することで、有効で計画的な運用を図ることができました。 各学校と綿密に協議し、要求に添うよう対応することで、良好な管理運営を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ-1 Ⅱ-5
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

学校給食の運営	給食運営に必要な消耗品の購入にかかる経費は、予算を年度当初に各学校に配分し、その範囲で必要な消耗品等の購入を実施しました。また、給食室備品（球根皮剥器、牛乳保冷库等）の老朽化に伴う計画的な整備や、調理員への貸与被服を購入しました。	給食備品を計画的に整備し、給食運営に支障がないように対応ができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II-5 II-6 II-7 II-8
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
学校保健用備品の購入	各学校の要求に優先順位を付け、必要な保健室備品（布団乾燥機、アイスメーカー等）を購入しました。	保健室備品の計画的な整備を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II-5 II-6 II-7
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
小中一貫校整備事業費	老朽化する学校施設への対応や児童生徒のより良い学習環境の向上等を目指し、角鹿中学校、敦賀北、赤崎及び咸新小学校を統合した小中一貫校を設置するため、校舎新築工事等を実施しました。	同校設置準備委員会の施設整備部会における意見を土台とし、着工後も細部にわたりユーザーである学校の意見を丁寧に確認しながら、学習環境の充実化に向けて有意義な取組みを進めることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	A	効率性 (人員)	A	①継続	I-2
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	A												
効率性 (人員)	A												
角鹿中学校区小学校閉校記念事業費補助金	令和3年4月の角鹿小中学校開校に伴い、閉校となる各小学校において実行委員会が開催する閉校記念事業に対して、補助金を交付しました。	実行委員会の開催内容を尊重し、約150年の歴史と伝統を誇る各小学校の閉校記念事業が滞りなく実施できるよう支援することができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	A	効率性 (人員)	A	②完了	I-2
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	A												
効率性 (人員)	A												

学校教育課 自己点検・評価報告書（まとめ）

学校教育課では、市内公立幼稚園、小学校、中学校の運営管理をするとともに、「敦賀市教育振興基本計画」及び「敦賀市『知・徳・体』令和プラン」に基づいた家庭・学校・地域が一体となった教育を推進するための事業を展開し、社会に出てからも学校等で学んだことを生かせる人材の育成を図っています。

また、平成30年度から「働き方改善事業」を新設し、教員の長時間労働の緩和、負担の軽減に取り組んでいます。

地域教育コミュニティ推進事業、地域と進める体験推進事業について

平成29年4月に文部科学省の「地域学校協働活動の推進に向けたガイドライン」において、各教育委員会がそれぞれの地域や学校の特色を生かしつつ、円滑かつ効果的に地域学校協働活動を積極的に推進していくことが明記されました。

敦賀市では、以前から「地域教育コミュニティ推進事業」に継続的に取り組み、「生きる力」の育成を基本とし、特色ある教育、特色ある学校づくりを推進するため、家庭・学校・地域の連携により、相互に情報を提供し、教育力の向上を図っています。

具体的には、オープンスクールに地域の様々な職業の方をゲストティーチャーとして招き、携わっている仕事についての内容、やりがい、苦労等を聞いたり、中学校2年生を対象に市内の事業所において実際に就業体験を行ったりして、児童生徒が地域の人々と交流しました。

また、平成28年度から福井県の補助事業である「地域と進める体験推進事業」を開始し、令和2年度は市内全8校で事業を実施しました。この事業は、「体験学習」を主とし、児童生徒が自ら地域の課題等に取り組んでいます。

毎年継続して事業予算を各学校に規模に応じた金額を配分し、それぞれの地域の特性に応じた独自事業を展開することにより、児童生徒が身近な地域のことに興味や愛着を持ちながら学習し、昨今希薄となりつつある地域と家庭との連携強化及び地域の活性化に繋がっていくことを期待しています。

働き方改善推進事業について

教育現場を取り巻く環境の複雑化・多様化により、学校に求められる役割が拡大する中、教員の長時間勤務の改善が喫緊の課題となっています。

この課題に対応するため、平成30年度から「学校運営支援員」及び「部活動指導員」を配置しており、令和2年度は、全小中学校17校に学校運営支援員を配置し、中学校4校に部活動指導員を配置しました。

学校運営支援員は、通常の教員補助業務に加え、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として教室の消毒作業等の業務も行っています。

また、働き方改善の一環として、県主導で整備した「遠隔授業・研修システム」を会議や研修等で活用することにより、教員の出張による負担軽減が図られました。

この事業により、教員の心身の健康が保たれ、教員が本来担うべき授業改善に取り組む時間や子どもと向き合う時間が十分に確保されることで、よりよい教育ができる

環境が整うよう目指しています。

公立幼稚園、小学校、中学校、ハートフル・スクールの管理運営について

消耗品については、学校等が配分された予算の範囲内で購入を行っています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として新たに予算を計上し、消毒用アルコールやハンドソープ等の消耗品を購入しました。

今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、学校等で新型コロナウイルス感染症対策を徹底できるよう感染拡大防止に係る消耗品を購入していきます。

学校ICTの整備（GIGAスクール構想の実現）について

国が示す「GIGAスクール構想の実現」に基づき、敦賀市においてもICT環境整備や児童生徒への適切な利活用の指導などを行う必要があります。

令和2年度には、児童生徒1人1台端末及び高速大容量の校内通信ネットワークの整備を完了しました。

今後は、1人1台端末の本格的な活用に当たり、使用にあたってのルール作りのほか、教員のICT活用指導力の向上、情報モラル教育等の充実、各家庭の通信ネットワーク環境整備支援などが求められています。

学校教育課

1 事務分掌

- (1) 児童・生徒の就学事務に関する事。
- (2) 市立小・中学校の管理に関する事。
- (3) 敦賀市補助金交付事業に関する事。
- (4) 就学援助費・特別支援学級就学奨励費に関する事。
- (5) 学校給食に関する事。
- (6) スクールバスに関する事。
- (7) ハートフル・スクールに関する事。
- (8) 幼稚園に関する事。
- (9) 奨学育英資金に関する事。
- (10) 市立幼稚園、小・中学校における学校教育全般に関する事。
- (11) 市立幼稚園、小・中学校教職員に関する事。
- (12) 学校教育に関わる調査統計に関する事。
- (13) 学校教育に係る事業等に関する事。
- (14) 教職員の働き方改善推進に関する事。
- (15) その他学校教育に関する事。

[敦賀市ハートフル・スクール及び教育研究室]

- (1) 不登校の児童及び生徒の適応指導に関する事。
- (2) 不登校の児童及び生徒のカウンセリングに関する事。
- (3) 訪問指導に関する事。
- (4) 教育相談に関する事。
- (5) 教材開発及び教育機器の活用に関する事。
- (6) 各教科の学習指導に関する事。
- (7) その他教育研究に関する事。

2 自己点検・評価

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類									
「知・徳・体」充実事業費	<p>幼児教育から中学校修了までの学びをつなぐ「敦賀市『知・徳・体』充実プラン」や「敦賀市教育振興基本計画」等に基づき、子どもたちの社会性を育み、学力の向上とそれに必要な教職員の資質向上に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会開催 2回 ・先生のためのワークブック、家庭学習ガイド作成 ・保幼小連携事業バス借上 	<p>コロナウイルスの影響により、研修会及び保幼小連携活動の開催回数が減少したが、教員用の「先生のためのワークブック」児童生徒用の「家庭学習ガイド」を作成したほか、第2期敦賀市教育振興基本計画策定に伴い、具体的な取組みとして敦賀市「知・徳・体」令和プランを定めた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	A	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ-3 Ⅱ-6
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	A												
効率性 (人員)	B												
働き方改善推進事業費	<p>教員の業務負担を軽減するため、授業や実験に使用する教材等の準備、資料等の印刷など細かな業務を支援する学校運営支援員を配置した。</p> <p>また、部活動面での教員の負担軽減を図るため、単独で部活動の指導や引率ができる部活動指導員を配置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営支援員 17校 36人 ・学校運営支援員 (コロナ関連) 17校 34人 ・部活動指導員 4校 5人 	<p>学校運営支援員・部活動指導員の配置により教員の事務や部活動の指導に係る負担が軽減された。</p> <p>また、コロナウイルス感染拡大防止のための消毒作業に従事するため学校運営支援員を新たに配置し、教員の負担軽減を図った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ-6
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
地域教育コミュニティ推進事業費	<p>「生きる力」の育成を基本とし、特色ある教育、特色ある学校づくりを推進するため、学校が地域や家庭と連携し互いに教育力や情報を提供し合い、一体となって教育力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育コミュニティ推進研究事業 (17校) ・中学生の社会体験活動事業 (全中学2年生対象) ・小中接続研究推進事業 (全中学校5校) ・小中連携合同事業 (角鹿中学校区) ・小小連携合同事業 (角鹿中学校区) ・学力向上推進事業 	<p>敦賀の自然・歴史・文化に触れるとともに、地域の人材・ボランティアの方々と触れ合う学習を通じ、地域活動に児童生徒が参加するなど地域の活性化にも繋がっている。</p> <p>また、小中一貫校(角鹿小中学校)の開校に向けた合同授業の開催により、児童生徒の不安の解消に繋げることができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ-3
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
地域と進める体験推進事業費	<p>児童・生徒が自らの地域の課題等を改善する体験学習を通して、ふるさと福井に誇りや愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施校 8校 ・対象学年 小学5・6年生 中学生 	<p>校区内をはじめとする敦賀の自然・歴史・文化に触れるとともに、地域の方との交流を図るなど独自事業を実施した。</p> <p>コロナ禍により活動が制限される部分もあったが、外部ではなく地域の方との交流を増やしたり、インターネットを利用した調べ学習を行ったりするなどの工夫が見られた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>②完了</p> <p>Ⅱ-3</p>
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
ふくいので場産学校給食推進事業費	<p>地場産の特産食材を使用した学校給食を児童生徒に提供するとともに、それらを教材とした食に関する授業を実施することを通して、地域の農林水産業や食文化への理解を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日、主な献立(食材) 11/16、17、19 醤油チキンカツ丼(県産牛肉) けんちん汁(県産野菜等) 12/10、16 牛の巻き巻きフライ(県産牛肉) 舞茸とほうれん草のスープ(県産野菜等) ・対象校 単独調理式校 小学校 8校、中学校 3校 	<p>地場産の特産食材を使用した学校給食を児童生徒に提供することで、地域の農林水産業や食文化への理解を深めるとともに、食に対する興味を持ち、生産者の苦労や思いを共有することができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>②完了</p> <p>Ⅱ-3 Ⅱ-8</p>
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
奨学育英資金貸付基金繰出金	<p>奨学育英資金貸付基金の利子積立を行うとともに、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少等があった学生に対し、特別奨学金(60万円)を創設し、142名の学生に無利子で貸付を行った。</p>	<p>奨学育英資金貸付基金が充実することにより、より多くの学生の修学支援につながった。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続</p> <p>Ⅱ-6</p>
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
教育相談支援事業費	<p>保護者や学校等関係機関と連携を図りながら、不登校・いじめなど児童生徒の抱える問題を総合的に解決し、学校復帰を支援するため、相談員を配置し、電話相談及び関係機関と連携した支援活動を行った。</p> <p>・スクールカウンセラー 1人（月3回）、 教育相談支援員 2人 配置 電話、メール相談 236件 面接相談 65件</p>	<p>電話相談以外にも学校等を訪問し、児童生徒の不安解消に適応した相談事業を実施し、児童生徒の不安解消に適した対策を行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続</p> <p>Ⅱ－3 Ⅱ－6</p>
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
ハートフル・スクール管理運営費	<p>教材の開発や教育相談に必要な消耗品、教材図書等を購入するなど、ハートフル・スクールの管理運営を行った。</p>	<p>施設の管理運営に必要な物品等を購入し、円滑な管理運営を行った。</p> <p>消耗品等については、購入依頼を精査し、効率的な配備を行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続</p> <p>Ⅱ－5</p>
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
学校 (幼稚園) 医の検診	<p>学校保健安全法の規定に基づき、各学校及び幼稚園に医師・歯科校医師・薬剤師を委嘱し、集団検診、就学時検診を実施した。</p> <p>・委嘱人数（延べ人数） 医師 57人 歯科医 27人 薬剤師 17人</p>	<p>検診により病気等を早期に発見し、早期治療につなげ、児童生徒園児の健康管理を行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続</p> <p>Ⅰ－10 Ⅱ－6</p>
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価		今後の方向	分類								
学校及び幼稚園給食の運営	安全で衛生的な給食の運営のため、消耗品（洗剤等）購入や給食室害虫駆除及び設置備品等の点検を行った。	年2回（夏季休業中、学年末休業中）の害虫駆除に加え、日頃から衛生面に注意を払い食中毒の発生を防いだ。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II-1 II-5 II-8
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
学校及び幼稚園の保健管理	<p>児童生徒園児の健康管理のため、尿検査・心電図検査・結核検査等を行うとともに、保健室備品の計画的な整備を行った。</p> <p>また、日本スポーツ振興センターの全国市長会学校災害賠償保険に加入し、事故等の対応に備えた。</p>	病気等を早期に見出し、早期治療に繋げ、児童生徒園児の健康管理を行った。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II-1 II-5 II-6
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
学校支援員配置事業費	<p>授業の補助や学級活動を支援し、生徒の教育環境を充実させるため、各支援員を全小中学校に配置し、学習活動や日常生活において学級担任等と連携しながら支援活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援員 小学校13人、中学校4人 ・学校図書館支援員 小学校11人、中学校5人 ・外国語活動支援員 小学校10人 ・学級復帰支援員 中学校1人 ・小中一貫学校支援員3人 	<p>学校生活になじめない児童の生活や学習支援を行うことにより、学級活動が円滑に推進され、生徒の不安解消とともに担任教員等の負担の軽減が図られた。</p> <p>小中一貫学校支援員は、小学校と中学校を兼務し小中学校間の情報共有、一貫した指導の支援を行った。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II-6
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
教育振興補助金	<p>児童生徒の体育・文化行事にかかる経費や通学にかかる交通費に補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二州地区中学校体育連盟負担金 ・中学校体育行事等派遣旅費補助金（交通費、宿泊費補助） ・生徒通学費補助金 教育委員会規定区域の児童生徒の通学定期乗車券等購入補助 <p>対象校 小学校 2校 中学校 4校 補助率 全額又は2/3</p>	<p>体育・文化行事に参加するための交通費、遠距離通学者の通学費を補助することにより、保護者の経済的負担軽減を図ることができた。</p> <table border="1" data-bbox="1038 331 1219 651"> <tr> <td>有効性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II-3 II-6
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
図書等購入費	<p>学校図書館用図書のほか教師用教科書・指導書、社会科副読本「きょう土の生活」、「松下むめ文庫」図書、こども新聞など学校教育に必要な図書を購入した。</p>	<p>各学校へ配分された予算内で計画的な購入を行い、指導書、学校図書を揃え、教育力の向上を図った。</p> <p>また、敦賀の地理歴史の図書を取り入れることで、身近な地域についての理解を深めることができた。</p> <table border="1" data-bbox="1038 947 1219 1267"> <tr> <td>有効性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II-4
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
学校間情報ネットワークシステム管理運営費	<p>教職員の情報の共有化や事務の効率化・省力化を促進し、児童の指導、教材開発や研究時間が十分図れるように、ネットワークシステムの維持管理を行った。</p> <p>また、教職員の電子データを保存する学校ファイルサーバー機器の更新を行った。</p>	<p>毎月1回の定期的な保守管理を行うことにより、システムトラブルもなく円滑な処理を行うことができた。</p> <table border="1" data-bbox="1031 1469 1211 1789"> <tr> <td>有効性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II-4 II-5
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
教育用コンピュータ管理運営費	<p>教育用コンピュータ及びデジタル教科書の利用により、情報機器の利活用と情報教育の更なる推進を図った。</p> <p>また、経年劣化した教室の大型ディスプレイの入替を行った。</p>	<p>デジタル教科書は、特に理科や社会の教科で使用されている。児童生徒にとってわかりやすく興味のある授業の一助となっており、ICTを活用した教育を推進できた。</p>	<table border="1" data-bbox="1038 333 1219 651"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table> <p>①継続</p>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>Ⅱ－4 Ⅱ－5</p>
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
要保護、準要保護児童就学援助費	<p>学校教育法第19条に基づき、経済的理由により就学困難な児童に学用品費等の援助を行った。</p> <p>新入学用品費については、令和3年度新1年生の保護者に対し、入学前に支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 要保護児童生徒数 2人 準要保護児童生徒数 521人 	<p>保護者の経済的負担の軽減を図り、児童生徒の就学機会を確保することができた。</p> <p>学校徴収金が未納の保護者には、学校口座を経由し支給することで、未納対策にも効果的であった。</p>	<table border="1" data-bbox="1038 721 1219 1039"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table> <p>①継続</p>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>Ⅱ－6</p>
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
特別支援学級児童就学奨励費	<p>各小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に就学奨励を行った。</p> <p>認定児童生徒数 112人</p>	<p>保護者の経済的負担の軽減を図り、児童生徒の就学機会を確保することができた。</p> <p>学校徴収金が未納の保護者には、学校口座を経由し支給することで、未納対策にも効果的であった。</p>	<table border="1" data-bbox="1038 1191 1219 1509"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table> <p>①継続</p>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>Ⅱ－6</p>
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
消耗教材等整備費	各小中学校に必要な教材消耗品の購入や教材備品等の修繕を行った。	予算配分の中で、学校運営に支障がないように必要な消耗品の購入や楽器等の調整、ピアノ調律を行った。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続 II-5
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
松下むめ文庫基金積立金	松下むめ文庫基金利子の積立を行った。 なお、本基金については、令和2年度に基金残高が0円となった事に伴い、基金を廃止した。	児童の本を読む機会を増やすとともに、豊かな心の育成につながった。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	②完了 II-4
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
白木地区生徒教育費	美浜町の学校に通学している白木地区の生徒の事務委託を実施した。 事務委託料の算定については、美浜町交付税単位費用額を参考に委託額を算定し、3年に1度、事務委託の算定額の見直しを行っている。	事務委託を実施することで、地理的に白木地区に近い美浜町の学校で学習することができた。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続 II-2 II-16
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
幼稚園管理運営費	公立幼稚園2園の必要な教材消耗品の購入や光熱水費の支払、教材備品等の修繕を行った。	安全な園生活を確保するとともに、園外学習や年間行事を円滑に実施するなど、幼稚園教育の運営の充実を図ることができた。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続 II-3 II-4 II-5 II-6
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
施設型給付事業費	子ども・子育て支援新制度へ移行した「私立幼稚園」「認定こども園」に対して、教育、保育に要する経費を給付した。 ・対象幼稚園 敦賀教会幼稚園 ・対象認定こども園 早翠幼稚園、第二早翠幼稚園、さみどり保育園、新和さみどり保育園	各幼稚園等に対し財政的支援をすることにより、施設整備の充実、延長保育など管理運営の充実を図ることができた。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続 II-13
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
一時預かり等事業費	通常の教育時間の前後や長期休業期間中など主に昼間において一時預かり事業を実施する私立幼稚園に対し、利用実績に応じた交付金を交付した。 また、幼児教育無償化に伴い、施設等利用費（無償化給付分）を保護者に支払った。 ・敦賀教会幼稚園 実施日数 234日 利用人数 2,951人 ・早翠幼稚園 実施日数 275日 利用人数 2,378人 ・第二早翠幼稚園 実施日数 275日 利用人数 5,450人	財政的支援を行うことにより、緊急の際や特別な理由による一時的な預かり保育が可能となり、安心して子育てができる環境を整えることができた。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続 II-13
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
私立幼稚園運営費等補助金	私立幼稚園等が産休代替職員を任用するにあたり、所要経費に対し産休代替職員費補助金を交付し、職員の母体の保護を図りつつ、園児の処遇を確保した。 ・第二早翠幼稚園 1人	幼稚園の負担軽減及び延長保育など管理運営の充実を図ることができた。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続 II-3 II-4 II-5 II-6
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
教育振興備品整備費	幼稚園に必要な備品を購入することで、教育振興備品の計画的な整備を図った。	園外学習や年間行事を円滑に実施することができ、幼稚園教育の運営の充実を図ることができた。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続 II-3 II-4 II-5 II-6
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
県内修学旅行支援事業費補助金	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、宿泊を伴う県内修学旅行を実施する小中学校に対し、経費の一部を補助した。 ・小学校 13校 中学校 4校	県内修学旅行を実施する小中学校への補助を行うことにより、保護者の経済的負担軽減が図られた。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	②完了 II-6
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
学校給食継続支援事業費	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う小中学校の一斉休業により、キャンセルした給食物資の補填金を支払った。	学校の一斉休業に伴い、キャンセルとなった給食物資にかかる事業者の損害を補填することができた。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	A	②完了 II-8
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	A											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
調査委員会運営費	<p>市内小学校の児童が死亡した事案について、専門的知識を有する委員で組織する調査委員会を設置し、客観的かつ専門的な調査を行った。</p> <p>・委員会開催実績 12回</p>	<p>専門的知識を有する委員で組織する調査委員会を設置し、客観的かつ専門的な調査を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ－6
有効性	B											
効果性	B											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
学校ICT環境整備事業費	<p>児童生徒1人1人の個別最適な学びと創造性を育むためのICT教育の実現及び緊急時におけるICTを活用した児童生徒への学びを保障できる環境を実現するため、1人に1台の情報端末を整備した。</p> <p>・小学生：iPad（第7世代） 3,685台</p> <p>・中学生：Chromebook 1,965台</p>	<p>有識者及び学校からの意見を踏まえて機器の選定を行った。</p> <p>また、端末の管理が容易となるシステムを導入するとともに、将来的な児童生徒数の増減も考慮して端末整備を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	②完了	Ⅱ－5
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	B											
効率性 (人員)	B											
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策事業費	<p>文部科学省の補助を受け、小中学校及び幼稚園において新型コロナウイルス感染症対策として必要な消耗品、備品等を購入するとともに、手洗いを励行するための手洗い場修繕や、新型コロナウイルス感染症が発生した学校の消毒業務委託を行った。</p> <p>また、幼稚園等における新型コロナウイルス感染症対策の強化を図るために必要な経費として、掛かりまし経費（超過勤務手当等）を補助した。</p>	<p>必要な消耗品や備品の購入を迅速に行い、各校各園で新型コロナウイルス感染症対策を徹底できた。</p> <table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>A</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	A	効率性 (人員)	A	①継続	Ⅱ－6 Ⅱ－7
有効性	A											
効果性	A											
効率性 (コスト)	A											
効率性 (人員)	A											

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価		今後の方向	分類								
学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業費	<p>1人1台端末を活用できる環境を構築し、新たな時代を担う人材の教育を実現するため、各小学校に高速大容量通信に対応する校内LAN及び端末用電源キャビネットを整備した。</p> <p>・整備実施校 小学校 11校 中学校 5校</p>	学校、各委託事業者との連携を密にし、遅滞なく整備を完了した。	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	II-5
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

学校給食センター 自己点検・評価報告書（まとめ）

児童・生徒に必要な栄養摂取量を確保し、安心安全で魅力ある給食を提供するための給食関係業務を実施しました。

1 学校給食センターの管理運営について

米飯、副食ともに提供を受ける完全給食供給校（小学校5校、中学校2校、幼稚園1園）と米飯供給校（小学校2校、中学校2校）に対し給食の提供を行う学校給食センターの管理運営を行っています。

施設は昭和59年度の供用開始から37年、附帯する設備の多くが耐用年数を経過しており、経年劣化による故障が増加しています。また、旧基準の設計であるため、文部科学省が定める「学校給食衛生管理基準」等に完全には合致しておらず、食中毒の防止についても細心の注意を払う必要があります。

施設の維持修繕については、予算確保の上、計画的に実施しました。食中毒については、水質検査や設備・食品の衛生検査及び薬品による消毒作業等を行い、未然防止に努めました。

2 給食材料の購入について

児童・生徒に必要な栄養摂取量を確保し、安心安全で魅力ある給食を提供するための食材料の購入を行っています。食材料の購入に当たっては、県農林水産部、学校給食会、卸売業者及び生産者等と連携し、可能な限り地場産食材を取り入れています。

今年度は、完全給食供給校に525, 896食、米飯供給校に158, 723食を提供しました。地場産食材の使用率については、県内産35.9%、市内産19.7%でした。

3 給食配送業務について

平成15年度から業務委託を開始している給食及び食器類の配送及び回収業務です。

委託業者に配送車両の日常・定期点検を徹底させ、配送車両の故障や交通事故なく、配送できました。

4 給食調理業務について

平成16年度から業務委託を開始している給食の調理及び食器類の洗浄業務です。

委託業者に調理器具等の日常点検や食中毒の防止等を徹底させ、安心安全な給食を提供できました。

また、より公平性、透明性の高い業務運営を行う観点から、公募型プロポーザルによる委託業者の選定を行い「株式会社トージツフーズ」が委託業者に選定されました。

5 ふくいの地場産学校給食推進事業（平成30年度～令和2年度）について

福井県の特産食材などの地場産食材を使用した学校給食を児童・生徒に提供するとともに、それらを教材とした食に関する授業を実施することを通して、地域の農林水

産業や食文化への理解を深め、児童・生徒にふるさと福井を誇りに思う心を育むことを目的にした県の補助事業です。(事業最終年度)

今年度は、11月、12月にそれぞれ一回ずつ福井県の特産食材を使用した給食を提供しました。

○給食センター

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
給食センター管理運営(施設修繕)	<p>施設は昭和59年度の供用開始から37年、附帯する設備の多くが耐用年数を経過しており、経年劣化による故障が増加しています。</p> <p>大規模な修繕については、予算確保の上、全15件を給食提供に支障が出ない夏季休業中を中心に計画的に実施しました。</p> <p>突発的な修繕については、全53件を実施しました。故障の未然防止のために日常点検を行い、簡易なものは極力、職員で修理を行い、修繕費を縮減しています。</p>	<p>機器類等の故障時にも迅速に対応し、給食の提供に大きな影響なく施設の管理運営ができました。</p> <table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度(コスト)	B	効率度(人員)	B	①継続	II - 1 II - 8
実現度	B											
効果度	B											
効率度(コスト)	B											
効率度(人員)	B											
給食センター管理運営(燃料・光熱水)	<p>調理業者に燃料等の使用料を周知することで節約を求めるとともに、季節に応じてボイラーの稼働時間を調整しました。</p>	<p>燃料・光熱水使用量を抑制しました。</p> <table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度(コスト)	B	効率度(人員)	B	①継続	II - 1 II - 8
実現度	B											
効果度	B											
効率度(コスト)	B											
効率度(人員)	B											
給食センター管理運営(その他)	<p>水質検査や設備・食品の衛生検査及び薬品による消毒作業等により、食中毒を未然に防ぎ、調理機器等の維持管理により、給食の調理・配送業務を円滑に行うことができました。</p>	<p>食中毒や機器の故障による大きな問題なく管理運営ができました。</p> <table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度(コスト)	B	効率度(人員)	B	①継続	II - 1 II - 8
実現度	B											
効果度	B											
効率度(コスト)	B											
効率度(人員)	B											
学校給食食材料費	<p>食材料の納入の際には、栄養教諭立会いの下で検収を行い、数量や品質の確認を行うとともに、業者に対し産地、加工地の確認及び成分分析等を徹底し、品質の確保や納入の遅延防止に努めました。</p>	<p>大きなトラブルなく、食材料の購入を行うことができました。</p> <p>また、地場産食材を積極的に取り入れました。</p> <table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度(コスト)	B	効率度(人員)	B	①継続	II - 8
実現度	B											
効果度	B											
効率度(コスト)	B											
効率度(人員)	B											
給食配送業務	<p>配送業者と連携し、給食開始時間の変更等による配送時間の変更に対応した結果、給食の遅配はありませんでした。</p> <p>また、配送業者に対し、配送車両の日常・定期点検及び安全衛生管理の指導の徹底を行いました。</p>	<p>配送車両の故障や交通事故なく、給食を配送できました。</p> <table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度(コスト)	B	効率度(人員)	B	①継続	II - 8
実現度	B											
効果度	B											
効率度(コスト)	B											
効率度(人員)	B											
給食調理業務	<p>調理業者に調理器具等の日常点検を徹底させるとともに、衛生管理研修会の実施を行いました。</p> <p>公募型プロポーザルにより給食調理業務の委託業者を選定しました。</p>	<p>調理器具の故障や食中毒等を未然に防ぎ、安心安全な給食を提供できました。</p> <p>選定の結果、「株式会社トージツフーズ」が委託業者に決定しました。</p> <table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度(コスト)	B	効率度(人員)	B	①継続	II - 8
実現度	B											
効果度	B											
効率度(コスト)	B											
効率度(人員)	B											
ふくいので場産学校給食推進事業	<p>福井県の特産食材などの地場産食材を使用した学校給食を児童・生徒に提供するとともに、それらを教材とした食に関する授業を実施することを通して、地域の農林水産業や食文化への理解を深め、児童・生徒にふるさと福井を誇りに思う心を育むことを目的とした県の補助事業を実施しました。</p> <p>【参考】 実施時期・献立名 11月 チキンカツ丼、けんちん汁 外 12月 県産牛フライ、まいたけスープ 外</p>	<p>県の補助事業の目的を達成することができました。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、6月は中止にしました。</p> <table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	実現度	B	効果度	B	効率度(コスト)	B	効率度(人員)	B	②完了	II - 8
実現度	B											
効果度	B											
効率度(コスト)	B											
効率度(人員)	B											

生涯学習課 自己点検・評価報告書（まとめ）

生涯学習課関係事業は各種講座・学級の開設や自主学習教室の育成など、生涯学習の推進と、成人式、地区事業の運営協力など人づくり、地域づくりの推進を目指して事業を行いました。

① 数値目標の達成状況と分析

【主催事業利用者実績（年度末）・・・講座・教室・学級・行事参加数】

※10ヶ所（9公民館及び生涯学習センター）

H30年度	65,191人
R 元年度	63,798人
R 2年度	37,741人

【増減理由】

- ・主催事業利用者は昨年比26,057人の大幅な減少となっております。新型コロナウイルス感染症の影響により、主催講座や自主学習教室等の中止及び自粛等による減少。また、「公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき、1部屋ごとの施設利用人数を制限したことにより、昨年度よりも大幅に減少しております。
- ・コロナ禍の中ではありますが、社会教育施設として、住民ニーズを把握し、魅力ある教室が開催できるよう随時見直していくことが必要と考え、今後も社会教育の重点施策「社会教育施設の円滑な運営」にある地域住民の多種多様な学習要求に応えるとともに、自主的で活発な学習活動が展開されるよう、学習機会の拡充と内容の充実に努めていきます。

【生涯学習施設利用者数（年度末）】

H30年度	134,652人
R 元年度	138,331人
R 2年度	79,144人

【増減理由】

- ・施設の利用者数は、昨年度比59,187人の大幅な減少となっております。新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者の利用自粛等による減少。また、「公民館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき、1部屋ごとの施設利用人数を制限したことにより、昨年度よりも大幅に減少しております。
- ・生涯学習課及び公民館は、社会教育の方向や公民館運営方針に基づいて、地域の実情に応じた利用に努めています。

② 生涯学習推進事業について

生涯学習センターでは、例年、受講希望者の多い英会話、韓国語、中国語、ペン字・筆ペン講座を開催しました。

一方、公民館では、高齢者学級、女性学級などを開催し、健康、交通安全、子育て、

時事問題など地域住民の身近にある様々なテーマで学習の場を提供し住民の自己研鑽に役立ちました。

また、生涯学習課と公民館において、受講生が自主的に運営している各種自主学習教室につきましては、運営の助言をし、自主学習活動の育成を図り、住民の生きがいづくりに努めました。昨年度は699名の来場がありました、例年開催しております文化祭は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止といたしました。この文化祭は、学習生の日頃の成果を見てもらえることにより、励みになるものと考えられるとともに、文化祭を機に、自主学習を始めるきっかけとなることも考えられることから、コロナ禍の収束後には、続けていきたいと考えております。自主学習教室は、107教室と今年度も高齢化等によりわずかではありますが減少しており、教室の参加者が10名に達しない教室も存在するため、文化祭でのPRや、ホームページでも掲載し、参加者の増加に努める必要があります。新規の自主学習教室の増加も必要と考えますが、今ある自主学習教室の充実の支援について検討することが必要と考えております。

③ 心ゆたかな人づくり事業について

令和3年1月10日には、成人式を例年通り開催し、新成人の企画運営委員による進行で挙行了しました。平成28年度には、一部新成人において、式典の進行の妨げとなるような行動があったため、昨年度と同様に警察との打ち合わせを密に行い、妨害行為のない式典を行うことができました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、二州健康福祉センターの助言を受けながらできる限りの感染症対策を行い安全に式典を終えることができました。今後も、新成人の自主性や協働意識を高められるよう、企画運営委員と調整を行い、成人式開催してまいりたいと考えております。

子育て講座として、保護者に対して、家庭教育の重要性や具体的な方法について学習する機会を就学児健康診断時に市内の11（市内13小学校の内3校合同開催）の小学校において実施しました。健康診断時であることで参加率も高いため、今後も継続して取り組んでいきます。また、今年度も社会教育委員の会の提言書に基づき、中学生の入学説明会時に、保護者に、SNS安全教室を6中学校で開催し、フィルタリングについてなど、敦賀警察署の方を講師に招いて行いました。

④ 地域づくり事業について

生涯学習課では小さな親切運動、敦賀市民憲章推進運動などを推し進め、また、人権研修会を開催するなどぬくもりのある地域づくりを目指しました。

なお、人権啓発に関連しては、人権週間に合わせて毎年開催している敦賀市人権教育指導者研修会では、市民一人ひとりが人権問題についての認識を深め、人権尊重の社会が確立するよう努めました。

また、公民館では、文化祭などを住民と力を合わせて開催し、地区の豊かなコミュニティづくりを目指しました。今後も地区の特性を活かした事業展開を目指していきたいと考えております。

地域コミュニティ推進事業として、住民主導で地域活性化、世代間交流、防災等の事業を通じて、地区内の地域振興に取り組む組織に交付金を交付し、組織を支援しました。本事業の取り組み5年目となる粟野コミュニティ運営協議会から今年度も申請があり、コロナ禍の中ではありますが、地域の人々が地域に愛着をもてるような工夫した事業を公民館で展開しました。また、今年度より東浦コミュニティ運営協議会が本事業に取り組みを始め、今年度は、広報誌の発行及び次年度事業の計画を行いました。今後も、人々が集い、つながりが持てる事業が展開されるよう支援してまいります。また、他地区においても、地区の実情等を把握しながら、住民による自主的なコミュニティ活動を支援できるようにしてまいりたいと考えております。

⑤ まとめ

生涯学習課及び公民館の主催講座は、敦賀市の特色ある生涯学習に繋がるような語学講座（韓国語、中国語、英語）や、市民のニーズにあった講座を開催するために、流行を取り入れたり、これまで生涯学習にあまり興味を持たない方々に対し、生涯学習のきっかけづくりができるよう新しい講座を開催することに取り組みました。今後も、通年の講座だけでなく、受講期間の短い短期講座を開催することで、より気軽に講座に参加できる体制をつくることも必要と考えます。

放課後地域子ども教室では、8公民館で実施しました。昨年に引き続き、松原公民館において、児童クラブと連携し、平日に教室を開催しました。今後は、他公民館でも児童クラブとの連携を考え、また、教室内容の見直しを随時行い、子どもたちに安全で安心な居場所、楽しい時間を提供し、気軽に公民館を訪れる環境づくりに努めていきます。

自主学习教室については、社会全体の高齢化に伴い受講生も高齢化の傾向にありますが、生涯学習センターと各公民館で教室を開催し、今年度はコロナウイルス感染症の影響により減少しましたが、受講しやすい環境を整備することで年々受講者数が増え、平成29年度からは4万人を超えるようになりました。

敦賀市社会教育委員の活動では、平成30年3月に教育長に提出した家庭教育に関する提言書に基づき、中学入学時説明会時に保護者に対してSNS安全教室を継続するとともに、令和2・3年度の自主研究テーマとして、「日本遺産（鉄道遺産ストーリー）と郷土愛の醸成」を設定し、自主研究を深めることを通して、郷土愛の醸成を図る社会教育について研究してまいります。

以上のように、これまでの内容を継続してだけでなく、住民に興味を持ってもらえるような、新しい発想を持って、生涯学習推進に努めていきたいと考えております。

生涯学習課

【生涯学習課の事務分掌】

- (1) 社会教育に必要な援助に関する事。
- (2) 社会教育委員の委嘱に関する事。
- (3) 社会教育施設の整備に関する事。
- (4) 社会教育と学校教育の連携に関する事。
- (5) 家庭教育に関する学習の機会の提供及び奨励に関する事。
- (6) PTA、社会教育団体等諸機関の指導育成に関する事。
- (7) 青少年の体験活動に関する事。
- (8) 社会教育に関する調査統計に関する事。
- (9) 生涯学習センターに関する事。
- (10) 図書館に関する事。
- (11) プラザ萬象に関する事。
- (12) 少年愛護センターに関する事。
- (13) 少年自然の家に関する事。
- (14) 公民館に関する事。
- (15) その他社会教育に関する事。

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類									
社会教育委員の活動	社会教育委員会議を4回開催し、社会教育事業について話し合いを持ちました。 自主研究テーマとして「日本遺産（鉄道遺産ストーリー）と郷土愛の醸成」を設定し、研修を重ねました。	自主研究を深めることを通じて、郷土愛の醸成を図る社会教育について検討することができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
成人式の開催	令和2年度に20歳となる新成人を対象に成人式を開催しました。 対象者616名のうち514名参加のもと、新成人による企画運営委員により、式典の司会進行、アトラクションを行い、一部新成人による進行の妨げもなかった。また、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、無事執り行うことができました。	新成人としての自覚を持つこと、自主性を高めること、市との協働という意識を持っていただくことに役立てることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
ふるさと創り運動の推進	負担金を交付していた、ふるさと創り運動の団体（あすの福井県を創る協会）が令和2年6月に解散したことにともない、令和2年度より負担金の交付が不要となりました。		<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td></td></tr> <tr><td>効果性</td><td></td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td></td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td></td></tr> </table>	有効性		効果性		効率性(コスト)		効率性(人員)		⑥ 中止	II - 9
有効性													
効果性													
効率性(コスト)													
効率性(人員)													
小さな親切運動の推進	「小さな親切運動」敦賀支部の事務を取り扱うと共に補助金を交付し、運動の実践活動を通じて心豊かな人間性を育て、市民相互の連帯感を深めました。 新幹線開業に向けて県内外の人を迎える気運を高める創意あふれる取り組みに対する補助事業（あったか運動）を実施しました。 「小さな親切運動」敦賀支部の活動…あったか運動、あいさつ運動の推進、コスモス・ミニヒマワリで心ふれあいまちづくり運動、実行章の推薦及び贈呈等	コロナ禍ではありましたが、支部活動の基幹活動でもある実行章の推薦及び贈呈を地道に例年よりも多く行うことができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

連合婦人会の支援	敦賀市連合婦人会へ補助金を交付し、婦人としての教養を高めるとともに、青少年の育成をはじめとした奉仕活動を通して地域の活性化を図りました。 敦賀市連合婦人会の活動…交通安全街頭指導の実施、ニュースポーツ交流会等	会員の研修や仲間作りの推進により、生きがいのある地域社会の形成に努めています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
P T A 連合会の支援	敦賀市 P T A 連合会へ補助金を交付し、P T A の活性化や児童・生徒の健全育成のための諸活動を支援しました。 敦賀市 P T A 連合会の活動…、市 P 連だよりの発行等	児童・生徒の健全育成に関し、学校・地域・家庭の連携の強化に努めています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
敦賀市民憲章推進会議事業推進	敦賀市民憲章推進会議の事業を推進するとともに補助金を交付し、地域づくりを推進し敦賀市民としての郷土愛を高め、誇りあるふるさとづくりの推進に努めました。 ふるさと敦賀の花「はぎ」の周知啓発のためプラザ萬象前に「はぎ」についての看板を設置しました。 敦賀市民憲章推進協議会の活動…広報紙コンクールの開催、広報紙の発行等	敦賀市民憲章の普及啓発の継続と、市民の郷土愛の高揚に努めることができ、心豊かな人づくりに貢献することができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
青少年育成団体の支援	敦賀海洋少年団、敦賀スカウト連絡協議会及びあわの子育てネットワークへ補助金を交付し、団体の育成と事業活性化を図りました。 敦賀海洋少年団の活動…ロシア人墓地清掃奉仕等 敦賀スカウト連絡協議会の活動…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため主だった事業は中止 あわの子育てネットワークの活動…子育て支援、悩み事相談の実施等	青少年育成団体の育成、事業活性化に役立ち、青少年の健全育成に寄与することができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
その他の活動	令和2年11月18日に人権教育指導者研修会を一般市民、教員、市職員、企業等を対象に開催し、109名が参加しました。また、社会教育指導員研修会、人権教育研修会等に参加しました。 市内全小学校（内3校合同開催）で、新入学児の健康診断の際、保護者に子育て講座を開講しました。また、中学校入学説明会時に敦賀警察署の方を講師に招き、SNS安全教室を保護者に対して行いました（6中学校）。 令和3年3月19日に生涯学習センター関連職員16名に対し、コロナ禍における小中学校での人権教育というテーマで研修を行いました。	人権知識の向上が図られ、人づくりに役立ちました。新入学児童保護者の子育て基礎知識の習得に役立ちました。公民館職員の資質向上に役立ちました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

生涯学習課の各種講座等の開催及び自主学習教室の育成	<p>英会話講座 30回開催 中国語講座 15回開催 韓国語講座 15回開催 ペン字・筆ペン講座 15回開催 合計 75回</p> <p>市民かるた大会（中止） 子どもかるた大会（中止） 市長杯囲碁将棋大会（中止） 王座戦囲碁将棋大会後援（中止） 生涯学習センター文化祭（自主学習教室による）（中止）</p> <p>各種講座及び各種自主学習教室（生涯学習センター分） 令和2年度 3,098名 (6,305名)</p> <p>(内訳) 各種講座 1,167名 (3,261名) 各種自主学習講座 1,931名 (3,044名)</p> <p>()内はR元年度実績</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により短期講座、各種大会及び生涯学習センター文化祭の開催ができませんでした。</p>	生涯学習センター主催で各講座を開催しました。語学講座においては、各言語の基礎知識と国際性豊かな教養を身につけました。ペン字・筆ペン講座等においては、個人の自己研鑽のための内容、あるいは地域社会や職場でも役立つ内容の講座を学習し、生活をより楽しく、より豊かなものにするに資することができました。また、例年短期講座として開催している趣味の講座、囲碁将棋大会、かるた大会及び文化祭については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止といたしました。その中でも、年間講座である語学、ペン字・筆ペン講座については、半年間に期間を短縮、受講生の数を制限した状況ではあるが開催することができました。各種自主学習講座についても新型コロナウイルス感染症予防を徹底したうえで開催することができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
生涯学習センターの管理運営	生涯学習センターの管理運営に必要な消耗品及び電信電話料を支出しました。	支出の削減を念頭に、適切に管理運営を行いました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
公民館運営審議会委員の活動	各公民館の年間の事業実施計画と事業報告について審議いただいた結果、公民館事業に関する貴重な意見をいただきました。 年間2回開催（9公民館）	公民館活動が地域住民と行政との緊密な連携のもとに進められています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
公民館の管理運営	公民館が機能を充分発揮できるよう、消防設備保守点検、保安警備、自家用電気工作物保安業務、エレベーター保守点検、冷暖房設備切替保守点検、清掃業務等保守管理業務等を業者に委託することで円滑な設備等の維持が図られました。また、必要な修繕を行いました。	各種保守点検等を業者へ委託することにより、施設の維持管理が適切に行われています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	① 継続	II - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

放課後地域子ども教室推進事業	<p>市内小学校児童を対象に、地区の指導者の特技を活かした教室を、放課後や長期休業中に公民館で開催しました。また、ふれあい交流や、軽スポーツなどの教室を開催しました。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr><td>東浦公民館</td><td>14名</td></tr> <tr><td>北公民館</td><td>144名</td></tr> <tr><td>南公民館</td><td>85名</td></tr> <tr><td>西公民館</td><td>0名</td></tr> <tr><td>東郷公民館</td><td>106名</td></tr> <tr><td>中郷公民館</td><td>140名</td></tr> <tr><td>愛発公民館</td><td>68名</td></tr> <tr><td>粟野公民館</td><td>55名</td></tr> <tr><td>松原公民館</td><td>292名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>904名</td></tr> </table>	東浦公民館	14名	北公民館	144名	南公民館	85名	西公民館	0名	東郷公民館	106名	中郷公民館	140名	愛発公民館	68名	粟野公民館	55名	松原公民館	292名	合計	904名	各公民館を活動拠点として、放課後や休日の子どもの安全な居場所づくりができました。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	① 継続	II - 9
東浦公民館	14名																																
北公民館	144名																																
南公民館	85名																																
西公民館	0名																																
東郷公民館	106名																																
中郷公民館	140名																																
愛発公民館	68名																																
粟野公民館	55名																																
松原公民館	292名																																
合計	904名																																
有効性	A																																
効果性	A																																
効率性(コスト)	B																																
効率性(人員)	B																																
各公民館生涯学習推進事業の実施	<p>高齢者学級、女性学級等を開催するとともに、各種自主学習教室の運営を支援し、地域住民の生涯学習を推進しました。また、地域における防災教育、スポーツ、環境美化啓発活動等の事業を地域住民とともに開催し、地域づくりを推進しました。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr><td>東浦公民館</td><td>463名</td></tr> <tr><td>北公民館</td><td>4,001名</td></tr> <tr><td>南公民館</td><td>5,694名</td></tr> <tr><td>西公民館</td><td>4,123名</td></tr> <tr><td>東郷公民館</td><td>2,658名</td></tr> <tr><td>中郷公民館</td><td>2,175名</td></tr> <tr><td>愛発公民館</td><td>274名</td></tr> <tr><td>粟野公民館</td><td>6,910名</td></tr> <tr><td>松原公民館</td><td>7,348名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>33,646名</td></tr> </table>	東浦公民館	463名	北公民館	4,001名	南公民館	5,694名	西公民館	4,123名	東郷公民館	2,658名	中郷公民館	2,175名	愛発公民館	274名	粟野公民館	6,910名	松原公民館	7,348名	合計	33,646名	全館民間館長の運営のもと、地域住民と力を合わせ、身近な学習の場及び地域づくりの場を提供することができました。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	① 継続	II - 9
東浦公民館	463名																																
北公民館	4,001名																																
南公民館	5,694名																																
西公民館	4,123名																																
東郷公民館	2,658名																																
中郷公民館	2,175名																																
愛発公民館	274名																																
粟野公民館	6,910名																																
松原公民館	7,348名																																
合計	33,646名																																
有効性	A																																
効果性	B																																
効率性(コスト)	B																																
効率性(人員)	B																																
地域コミュニティ推進事業の実施	<p>住民主導で、地域活性化、世代間交流、防災等の事業を通して、地域振興を図るため、事業に取り組む粟野コミュニティ運営協議会及び東浦コミュニティ運営協議会に対し、交付金を交付しました。また、他地区にも広められるよう、コミュニティ事業について、地区の状況をお聞きました。</p> <p>粟野コミュニティ運営協議会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報紙発行 ・ 河川等安全確認パトロール実施 ・ We Love AWANO 写真コンテスト ・ ふる里再発見クイズラリー ・ 脳トレ遊園地 ・ DVD上映会 ・ 粟野地区防災訓練 ・ ちょっと素敵なコンサート開催 <p>東浦コミュニティ運営協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報誌発行 ・ 次年度の事業検討 	地域コミュニティモデル地区に対し、交付金を交付し、住民の自主的な地域コミュニティ活動を支援しました。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	① 継続	II - 9																				
有効性	A																																
効果性	A																																
効率性(コスト)	B																																
効率性(人員)	B																																

○プラザ萬象

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類				
施設管理運営のための業務の委託及び施設の活用のための管理運営	各種業務を委託するとともに、施設維持に必要な光熱水費、修繕費、電信電話料、消耗品等を確保し、小規模修理必要箇所を修繕し、貸館として施設の維持管理を行いました。	各設備を正常に使用することができました。 また、全ての舞台運営について、滞りなく完了することができ、安全で快適な館利用につながりました。	① 継続	Ⅱ - 9				
<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A			効果性	A	効率性 (コスト)	B
有効性	A							
効果性	A							
効率性 (コスト)	B							
効率性 (人員)	B							
老朽化した施設等の改修のための工事	老朽化に伴う施設及び設備の改修を行いました。また、国交省が施工する国道8号の無電柱化事業に係る電線共同溝工事に伴い、プラザ萬象敷地内への電力ケーブル等の引込配管地中化工事を行いました。 ・非常用自家発電設備ディーゼル機関オーバーホール修繕 ・舞台照明設備修繕 ・舞台音響設備修繕 ・小ホール舞台幕等取替修繕 ・茶室・団体室エアコン取替修繕 ・プラザ萬象電力等引込配線地中化工事 その1	改修により、施設の維持が適切に行われました。	① 継続	Ⅱ - 9				
<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A			効果性	A	効率性 (コスト)	B
有効性	A							
効果性	A							
効率性 (コスト)	B							
効率性 (人員)	B							

図書館 自己点検・評価報告書（まとめ）

図書館業務

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月23日から5月11日までを、臨時休館といたしました。また主催事業も中止としていましたが、7月から開始しております。図書館は公共施設の中でも、小さい子供からお年寄りの方まで、不特定多数の方が集まる場所であり、また館内の換気設備も悪く、長時間の滞在も可能ということでもあることから、対策を強化いたしました。主な点としましては、アルコール消毒液の設置、館内設備や本の清拭、飛沫防止のためのアクリル板の設置や、席の間引き、DVDやインターネットの利用時間の制限などを行っています。また期間限定で、最大貸出冊数を10冊から15冊までに、貸出期間を2週間から4週間に延長するなど、サービスの拡大に努めました。

図書館では、第6次敦賀市総合計画後期基本計画、及び教育振興基本計画により「生涯学習の知の拠点」として、利用者のニーズに対応した読書環境づくりを図るとともに、市民の課題解決に役立てるような情報提供の発信を行います。

さらに、敦賀市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもから大人までが幅広く読書に親しみ、次代を担う子どもたちの健全な育成を目標とし、家庭や地域、学校などと協力・連携して、読書推進活動を総合的かつ効果的に進めてまいります。

図書館利用状況（粟野公民館図書コーナーを含む。）

	開館日数	のべ利用者数	1日平均利用者数	のべ貸出冊数	1日平均貸出冊数	登録者数
平成30年度	279	202,648	726	289,832	1,039	839
令和元年度	279	203,490	729	271,516	973	782
令和2年度	261	141,030	540	246,461	944	589

図書予約状況

(件)

	予約総数	ネット件数	窓口件数
平成30年度	15,182	9,217	5,965
令和元年度	14,387	8,585	5,802
令和2年度	14,463	9,119	5,344

新型コロナウイルスの影響もあり、昨年度と比較すると、利用者数、貸出冊数ともに減少しています。ただし利用者数26%減と比較して、貸出冊数は3%の減にとど

まっております、また予約件数も変わらなかったことから、本の貸し出しについては、ほとんど影響はなかったと推察されます。

図書館の管理運営

図書館システムの堅実な運用を確保し、館内各設備機器等の確実な動作と安全のための保守管理・施設等修繕を実施し、円滑な運営を行いました。

今後も図書館業務の効率化・迅速化を図り、利用者の利便性向上に努めます。

図書の購入

図書の購入については、見計らい本並びにブックキャラバンの現物選書を実施し、また新聞書評等を参考にして選書いたしました。

今後も特色ある図書館を目指し、蔵書の充実に努めます。

図書館蔵書受入状況

(冊)

	前年度 蔵書冊数	購入冊数	寄贈冊数	その他	除籍冊数	3月末 蔵書冊数
平成30年度	266,845	6,287	1,673	24	1,491	273,338 (6,493増)
令和元年度	273,338	6,422	1,162	19	6,297	274,644 (1,306増)
令和2年度	274,644	6,375	1,026	1,170	13,194	270,021 (4,623減)

その他、1,170冊に関しては、今までに蔵書冊数として含めていなかった複本(同じ本で2冊目・3冊目)等を、新たに蔵書冊数に含めたことによるものです。

また令和2年度は、今までに確認できていなかった蔵書の見直しを一斉に行ったことにより、汚破損の激しい資料、内容等が古くなり資料的価値を失った資料が多く見つかったため、蔵書整理をするうえで、除籍冊数が増えた結果となりました。

ブックスタート事業

ブックスタート事業は、生後7ヵ月の乳児とその保護者を対象に、親子で本にふれあうことの大切さをアドバイスすることで、心ふれあうひとときをもつ契機とすることができました。

今後も、より多くの親子が絵本を開く時間の楽しさを、一層体験できるよう努めていきます。

ブックスタート参加状況

(人)

	対象者数	図書館	子育て総合 支援センター	栗野子育て 支援センター	合計 参加者	参加率
平成30年度	525	184	114	131	429	82%
令和元年度	424	108	75	122	305	72%
令和2年度	456	245	—	125	370	81%

ブックスタート事業の参加率向上のため、市内8カ所の小児科・産婦人科施設に啓発ポスターを配布し、事業の周知に努めるとともに、ブックスタート未参加の方には、再度案内通知を送付しました。

また令和2年度からは、図書館と栗野子育て支援センターの2カ所で実施しました。開催場所を減らした理由といたしましては、子育て支援センターは、3カ所のうち一番参加者が少なく、事業をお願いしていましたボランティアの方の高齢化による指導者数の減や、対象者数の減（H30→R1, 101人減）によるもので、事業の効率化を図りました。

図書利用推進事業

図書利用推進事業は、学校や、幼稚園、保育園、児童クラブ等に図書を配架し、図書の利用推進を図りました。配架先は35施設で実施しており、今後も事業推進を図ってまいります。

図書利用推進貸出状況

	貸出施設数	貸出冊数
平成30年度	44施設	22,960冊
令和元年度	42施設	12,139冊
令和2年度	35施設	16,148冊

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、9施設の減・2施設の増となっています。

視聴覚ライブラリー

視聴覚資料の充実と環境整備等を実施して利用者の拡大を図りました。

視聴覚コーナー利用統計

(人)

	DVD	インターネット	音楽CD 他	合計	大人	子ども	1日平均
平成30年度	2,716	4,181	88	6,985	3,283	3,702	25
令和元年度	1,530	4,259	47	5,836	2,719	3,117	21
令和2年度	968	1,975	21	2,964	2,060	904	11

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、利用者数は大幅に減少しました。令和2年度のDVD・CD購入枚数は29枚です。

○図書館

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
図書館業務	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月から5月にかけて臨時休館いたしました。 そのため、期間限定ですが、最大貸出冊数の増冊（10冊→15冊）や、貸出期間の延長を実施し、利用者のサービス拡大に努めました。	図書館業務、3階視聴覚コーナー業務について、親切・丁寧・迅速・公平なサービスを実施することができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	A	①継続 II-9
有効性	A											
効果性	A											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	A											
図書館の管理運営	館内各設備機器（消防設備・エレベーター設備・電気工作物の保安設備・冷暖房設備等）の確実な動作と安全のため、保守管理業務を委託しました。	館内各設備機器のシステム等の確実な動作と安全のため、保守管理を行い、また施設の維持に必要な修繕を実施いたしました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 II-1
有効性	A											
効果性	A											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
図書の購入	市民の要望に応えながら蔵書を整備し、見計らい本やブックキャラバン、新聞書評等を参考に選書いたしました。 年間購入冊数は6,375冊、予約件数は14,463件となりました。	市民の学習・情報発信の拠点として蔵書の充実を図り、利用者の要望に迅速に応えることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 II-9
有効性	A											
効果性	A											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
ブックスタート事業	7カ月の乳児とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせを行い、絵本とバッグを手渡し、乳児期から親子で本にふれあうことの大切さを体験できるよう努めました。また、開催場所を3カ所から2カ所に減らすことで、事業の効率化を図りました。	乳児とその保護者が、いっしょに絵本を開く時間の楽しさを体験し、絵本を通じてふれあう時間をもつ契機となりました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	A	効率性(人員)	A	①継続 II-9
有効性	A											
効果性	A											
効率性(コスト)	A											
効率性(人員)	A											
情報システムの整備	ICタグ方式の図書館システムに係る機器等の借り上げ、及び保守管理業務の委託を実施し、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図りました。	IC機器を活用した図書館システムにより、利用者の利便性の向上、プライバシー保護及び、図書館業務の迅速化に努めました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 II-1
有効性	A											
効果性	A											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
図書利用推進事業	学校・幼稚園・保育園・児童クラブ等へ図書を配架し、図書の利用を促すことにより、児童・生徒の読書活動を推進いたしました。 利用施設は減少しましたが、毎月配送を行い、のべ利用冊数は、16,148冊となりました。	学校・幼稚園・保育園・児童クラブ等へ毎月図書を配架することにより、図書の利用推進を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続 II-9
有効性	A											
効果性	A											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											
視聴覚ライブラリー	視聴覚コーナーでの、サービスの提供と利用者の拡大を図るため、視聴覚資料の充実と機器等の保守管理業務を実施いたしました。 年間利用者数は、コロナ禍の影響もあり、2,964名にとどまり、前年比49%減となりました。	視聴覚コーナーでの利用者サービスを、迅速に進めましたが、DVDやインターネット機器の普及により、利用者の拡大にはいたりませんでした。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	④縮小 II-9
有効性	B											
効果性	B											
効率性(コスト)	B											
効率性(人員)	B											

プラザ萬象自己点検・評価報告書(まとめ)

プラザ萬象は、市民相互のふれあいの場、つどいの場、団体活動推進の場として、あらゆるニーズに応えられるよう総合的な機能を持った多目的会館です。

① 数値目標の達成状況と分析について

【利用者数実績（年度末）】

H30年度	75,833人
R元年度	78,661人
R2年度	20,966人

【増減理由】

- ・令和2年度は、前年比57,695人と大幅な減少となりました。稼働率は大ホールで24.8ポイント、小ホールで22.4ポイント、会議室（4部屋）で20.3ポイント減少しています。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月から5月にかけての貸館停止や5月から6月にかけての市内利用者だけの貸館。また、ホール及び会議室等の施設利用者数の制限などの理由により、昨年度より利用者数及び稼働率が大幅に減少となっております。

② 利用者の拡大について

プラザ萬象は総合的な機能を持った多目的会館ですので、舞台での催し、展示、祝宴、会議など様々な用途に利用できること、JR敦賀駅から近いうえ駐車場も広くアクセスしやすいこと、休日に比べ平日はホールの使用料を低額に設定していることなどを、今後も継続してホームページでPRし利用者の拡大を図ります。今後は老朽化に伴う改修工事も必要となってくることから、利用者数が減少するケースが考えられますが、施設の維持には必要な改修工事であるため、なるべく利用者があまり不便にならないよう配慮した工事時期や工事内容を検討し、利用者の落ち込みを最小限にしていくことが必要であると考えます。

③ 利用しやすい環境づくりについて

職員の受付事務や、催事の運営等に関する助言や協力もこれまで同様丁寧に行うとともに、出来る限り利用していただく方の要望に応えるよう、「断らない」受付を心がけていきます。

建物・設備の管理についても維持修繕を施し、安全で安心、快適に利用していただけるよう努めてまいります。

○プラザ萬象

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類				
施設管理運営のための業務の委託及び施設の活用のための管理運営	各種業務を委託するとともに、施設維持に必要な光熱水費、修繕費、電信電話料、消耗品等を確保し、小規模修理必要箇所を修繕し、貸館として施設の維持管理を行いました。	各設備を正常に使用することができました。 また、全ての舞台運営について、滞りなく完了することができ、安全で快適な館利用につながりました。	② 継続	Ⅱ - 9				
<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A			効果性	A	効率性 (コスト)	B
有効性	A							
効果性	A							
効率性 (コスト)	B							
効率性 (人員)	B							
老朽化した施設等の改修のための工事	老朽化に伴う施設及び設備の改修を行いました。また、国交省が施工する国道8号の無電柱化事業に係る電線共同溝工事に伴い、プラザ萬象敷地内への電力ケーブル等の引込配管地中化工事を行いました。 ・非常用自家発電設備ディーゼル機関オーバーホール修繕 ・舞台照明設備修繕 ・舞台音響設備修繕 ・小ホール舞台幕等取替修繕 ・茶室・団体室エアコン取替修繕 ・プラザ萬象電力等引込配管地中化工事 その1	改修により、施設の維持が適切に行われました。	② 継続	Ⅱ - 9				
<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A			効果性	A	効率性 (コスト)	B
有効性	A							
効果性	A							
効率性 (コスト)	B							
効率性 (人員)	B							

少年愛護センター 自己点検・評価報告書 (まとめ)

少年愛護センターは、青少年の健全な育成を図ることを目的に、各関係機関や青少年育成団体と連携し、補導活動、相談活動、青少年健全育成活動に取り組みました。

補導巡視における青少年への声かけにより、地域の人に見守られているという意識付けを行うとともに、啓発行事を通じて、青少年の豊かな心の醸成に役立てることができました。

なお、育成者や市民全般へは行事を通じ、青少年育成の環境浄化や家庭教育の意識を高める取り組みを行いました。

また、家庭教育や青少年自身からの悩み相談に対応することで、心身ともに健やかな青少年の成長に資することができたと考えています。

1. 青少年補導活動について

補導とは、その地域に住んでいる社会人として、わが子を愛するように地域の子を愛し、この地域を愛するという気持ちを持って、子どもたちに温かい目を注ぎ健やかな成長を見守る活動です。

令和2年度は90名の補導員により2人1組で年間を通じ延べ474回補導巡視を実施しました。

不良行為や非行につながりそうな行動をしている青少年がいたら「愛のひと声」運動を実施し、1年間に延べ429人の青少年に声かけを行いました。

声かけを行った場所としては、ゲームコーナーや量販店、書店が多く、公園、寺社、路上などでも声かけを行っています。

出来る限り多くの青少年に声かけを行いたいと考えていますが、近年、少子化、また、スマートフォン、携帯ゲーム機等の普及や新型コロナウイルス感染拡大予防のため、公園などで見かける子どもが少なくなっています。

また、補導員研修ではビデオを活用し、補導活動の課題について意見交換を行ないました。

なお、青少年を取り巻く環境を少しでも良くするために、毎年1回、福井県からの依頼で社会環境調査を実施しています。

2. 青少年健全育成活動について

青少年健全育成敦賀市民会議と連携して、「地域の子どもは地域ですこやかに育てよう」をスローガンに、各種青少年健全育成行事を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、参加者の安全を考慮し「親子のフェスティバル」「青少年育成敦賀市民大会」「ひまわり塾」を中止としました。

- ・ 「青少年からのメッセージ・青少年へのメッセージ」については、作文、図画・ポスターの募集を行い、あわせて5,017通の応募があり、各学年の優秀作品を表彰しました。

○少年愛護センター

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類								
青少年 補導活動	<p>総勢90名の補導員が、2人1組で延べ474回、市内の量販店などの補導巡視を行い、帰宅指導、校則遵守などの声かけを、延べ429人に行いました。</p>	<p>青少年への声かけにより、地域の人に見守られているという意識付けを行い、豊かな心の醸成につながりました。</p>	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table> <p>①継続</p>	実現度	A	効果度	B	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	II - 9
実現度	A											
効果度	B											
効率度 (コスト)	B											
効率度 (人員)	B											
相談活動	<p>「家庭教育相談」と「青少年の悩み相談」を中心に相談活動を行いました。 2年度の相談件数は101件で、児童生徒からの進路、交友などや一般青少年からの就職、人生問題などでした。</p>	<p>相談に共感的に対応することにより、相談者が心の安定を取り戻し前向きに考えていけるよう導くことができるとともに、家庭教育の知識向上に役立ちました。</p>	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table> <p>①継続</p>	実現度	A	効果度	A	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	II - 9
実現度	A											
効果度	A											
効率度 (コスト)	B											
効率度 (人員)	B											
青少年健全育成推進事業	<p>少年愛護センターは青少年健全育成敦賀市民会議と連携して「地域の子は地域ですこやかに育てよう」をスローガンに各種青少年健全育成行事を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため「親子のフェスティバル」「青少年育成敦賀市民大会」「ひまわり塾」を中止としました。 ・「青少年からのメッセージ・青少年へのメッセージ」作文・ポスターの募集を行い、あわせて5,017通の応募があり、優秀作品を表彰しました。</p>	<p>各種行事の開催や広報活動により、親子、仲間、地域とのふれあいの場を提供するとともに、市民に明るい環境づくりを訴え、地域住民の積極的な協力により、地域子ども達を守り育てる意識の高揚に寄与しました。</p>	<table border="1"> <tr><td>実現度</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果度</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率度 (人員)</td><td>B</td></tr> </table> <p>①継続</p>	実現度	A	効果度	B	効率度 (コスト)	B	効率度 (人員)	B	II - 9
実現度	A											
効果度	B											
効率度 (コスト)	B											
効率度 (人員)	B											

利用団体及び利用者数について

令和2年度に当施設を利用した団体数及び延べ人数は、84団体 3,091人で、前年度に比べ団体数で11団体、延べ人数で2,989人の減少となりました。

減少した要因としては、新型コロナウイルス感染症拡大による利用の自粛やキャンセルなどが年間を通じて影響したことが挙げられます。

当施設は、子供たちが集団生活と周囲の自然に触れあい、様々な体験学習を行うことができる少ない社会教育施設であり、今後も学校やスポーツ少年団、子ども会等と連携を密にし、隣接市町の各種団体の利用も視野に入れた利用者の拡大を目指します。

また、利用が少ない冬期には、団体等に研修や合宿等の場としての利用をPRし、施設の有効利用を図っていきます。

主催事業について

子ども達が施設周辺の自然に親しみ、触れ合い、活動することを目的に、年2回主催事業を開催すべく準備を進めていましたが令和2年度につきましては新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2回とも中止にせざるを得ませんでした。

開催は7月の「夏のふれあいキャンプフェスタ」を1泊2日で、2月には「早春のふれあいフェスタ」を予定していました。

今後は、感染状況やその他の状況を鑑み、安全な開催となるよう、さらに多くの方の協力を得て、魅力ある主催事業となるよう努めていきます。

施設管理及び運営について

利用者が安全にかつ快適に利用できるよう、各種設備や施設の維持管理を専門業者に委託し、安全面や衛生面に気を配りました。

施設については、昭和54年開所以来40年以上経過し、機械設備や建物施設の劣化が目立つことから、計画的に修繕を行っていきます。

○少年自然の家

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価		今後の方向	分類								
少年自然の家のふれあいフェスタ事業	<p>年2回の主催事業を通して、参加した子供たちが自然の中で学び、自然の中で体験させる。その活動の中で一人一人の自主性を引き出し、責任を持って行動ができるよう準備した。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策としてふれあいフェスタは夏、早春とも中止せざるを得なかった。</p>	<p>例年、参加者希望者が多く、リピーターも多く人気も高い。</p> <p>令和2年度は、夏・早春とも中止になったが、さらに興味深い内容となるよう、検討を続けていく。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 9
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
少年自然の家の管理運営	<p>利用者が安全かつ安心して利用できるよう、各種保守点検・維持管理業務を業者に委託し、修繕箇所の補修に努めた。</p> <p>施設屋根・外壁補修、浴室床タイル補修を行った。</p>	<p>建設して40年以上経ち、躯体施設の劣化も見られることから、目視点検等特にパトロールを強化し、危険箇所の早期発見に努め、施設の長寿命化及び安心安全を図った。</p> <p>また、修繕費の嵩むものについては、計画的に実施し、毎年の修繕費の平準化を図った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 9
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

文化振興課自己点検・評価報告書（まとめ）

文化振興課では「文化財保護」と「文化振興」を大きな二本柱として事業を行っています。

文化財保護事業では、文化財の保存と活用を一体的に捉え、より効率的な保護の実現を目指しています。そのために、文化財を地域の貴重な資産として適切な状態で保存するための措置を講じています。同時に、多くの市民に対して文化財の持つ魅力を発信し、活用を図るため、現在は文化財の修復整備を重点的に進めています。

文化振興事業では、民間の文化団体の活動を支援することで、市民自らが主体的に市民文化を創造する活動の支援を図っています。文化芸術及び科学技術分野で全国大会等に出場した個人及び団体を激励するとともに、全国又は世界大会で優秀な成績を収めた場合には、表彰し、活動を奨励しています。

1 文化財保護

令和2年度は、文化財保護審議会にて調査及び審議を行った結果、新たに1件の市指定文化財の指定を行い、目標値を達成しました。また、新たに1件が国の登録有形文化財（建造物）となりました。今後も、指定又は登録に値する文化財については調査を計画的に実施し、地域の宝である文化財の一層の保存活用を図ります。

文化財整備着手件数は目標値の達成には至っておりませんが、令和2年度に史跡武田耕雲斎等墓保存整備委員会で審議を行い、保全活用計画を策定しました。

（1）埋蔵文化財発掘調査

市内の開発行為に伴う埋蔵文化財確認調査（3件）を行い、遺構を損壊することなく、また事業主に大きな影響を及ぼすことなく対応しました。

また、過去の出土資料の整理を行いました。今後も開発事業に伴う埋蔵文化財保護業務を的確に行うとともに、事業成果を文化財指定や整備に結び付けられるよう努めます。

（2）名勝柴田氏庭園の保存活用

柴田氏庭園保存修理事業は平成27年度から国庫補助を受け整備に着手しています。令和2年度は建造物の保存修復工事及び庭園の植栽整備工事を行うとともに、発掘調査も実施しました。今後は、整備後の庭園の公開方法や管理形態について検討を進めていく必要があります。

（3）史跡武田耕雲斎等墓の保存活用

国指定史跡武田耕雲斎等墓の保全及び教育・観光への活用を図るため、委員会を開催し、今後の整備に向けて史跡や竊蔵の歴史的・建築的価値を審議し、保存活用計画を策定しました。次年度からは、具体的な整備に向けて整備基本計画の策定、竊蔵の調査解体に着手します。

2 文化振興

文化行事参加者数、文化施設利用者数とも大きく減少しました。令和2年度については、新型コロナウイルスの影響による外出控え、施設利用控えが大きな原因と考えられます。

しかし、昨年度までも目標数を達成できおらず、その要因の1つには広報、PRの不足があると考えられますので、今後も事業者の広報活動支援と文化施設の魅力向上・発信を継続してまいります。

(1) 文化芸術及び科学技術等活動に対する激励及び表彰

文化芸術及び科学技術部門で全国大会等に出場した10名(2大会)に出場激励費を交付しました。また、全国大会等で優秀な成績を収めた2名を表彰しました。

(2) 文化芸術企画の支援

演劇や音楽、伝統芸能などの文化芸術事業を自主的に企画・実施する団体を公募し、支援することで舞台芸術文化の振興と向上を図りました。また、市民の芸術鑑賞機会の充実を図ることにもつながりました。

(3) 奥の細道全国俳句大会の支援

「奥の細道」つるが芭蕉紀行全国俳句大会を主催する敦賀俳句作家協会を支援し、「杖措きの地敦賀」のPRと俳句文化の普及を図りました。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、当日大会を中止し、事前投句のみを実施することとなり、例年よりも事業規模が縮小した。しかしながら、一般の部、こどもの部とも事前投句数が前年よりも伸びており、普及啓発の効果があつたと評価しています。今後は、特に若年層への文化の継承を課題として、俳句が市民に親しまれるように、事業運営の支援に努めます。

(4) 市民文化センターの管理

市民文化センターは、令和元年度から指定管理者制度を導入しています。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、年度当初から利用控えがあり、4月18日から5月18日までは休館の措置を採りました。このため、利用実績は低調に終始しました。令和2年度の利用総件数は388件で、利用人数は11,194人でした。前年度比では、100件、22,582人の減になります。

しかし、指定管理者による効率的かつ効果的な施設の管理運営は継続して行われており、指定管理者による休館中とその前後のコスト削減の努力等の結果、協定に基づく令和2年度収益分の納入もありました。

今後は、指定管理者と連絡を密にして、自主事業の満足度を向上させられるよう、協議と指導、助言を行うとともに、現在の指定期間が令和4年度末で終了することを見据え、現在の課題を次期の指定管理者選定(又は指定管理終了後の施設運用)に活かせるよう努めます。

文化振興課

【文化振興課の事務分掌】

- (1) 文化関係施設の設置及び管理に関すること。
- (2) 文化財保護審議会に関すること。
- (3) 芸術文化の振興に関すること。
- (4) 文化団体の育成及び指導に関すること。
- (5) 文化財の調査、保存及び活用に関すること。
- (6) 埋蔵文化財の調査及び発掘に関すること。
- (7) 市史編さんに関すること。
- (8) 博物館に関すること。
- (9) 市民文化センターに関すること。
- (10) みなとつるが山車会館に関すること。
- (11) その他文化振興及び文化財に関すること。

【自己点検・評価】

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類
文化財保護審議会運営費	文化財の調査、保存、指定等について審議するため、文化財保護審議会を開催しました。 市指定文化財の指定及び所要の維持管理について、専門的見地から指導及び助言を得ました。 ・審議会の開催 3回	審議会では資料そのものの学術的価値等に即して、厳正に審議が行われました。 また、指定等の措置を講じられた文化財を保存するための助言指導も行われました。	①継続	I - 14
文化財発掘調査費	開発に伴う遺跡等の損壊を防ぐため試掘調査及び現地踏査を行うとともに、出土品等の記録等を行いました。 発掘調査の成果については、文化振興課分室にて展示を行い、活用も行いました。	宅地造成等市内の開発工事については、遺構を損壊することなく、かつ事業主に大きな影響を及ぼすことなく対応ができました。	①継続	II - 11
文化振興課分室の管理運営 (その他諸経費)	文化振興課分室の維持管理を行いました。 市内遺跡等の出土品洗浄・注記・接合・実測・復元等の整理作業のほか、発掘調査に関する展示や一般見学、取材の受け入れも行い、発掘調査成果の活用も行いました。 ・一般見学受入 10名	出土品の整理作業は着実に進められています。また校外学習の受入れや出土品の展示などを通じて、遺物の公開や活用が図られています。	①継続	II - 1 II - 11
柴田氏庭園保存修理事業費	柴田氏庭園保全整備委員会を開催し、委員会及び国（文化庁）の指導を受けながら、柴田氏庭園の保全整備（建物の復元修復工事、庭園の植栽整備等）を行いました。 ・委員会の開催 3回	委員会では学識経験者と地域の代表者がともに検討し、修復整備事業が着実に進捗しました。	①継続	II - 1 II - 11
史跡金ヶ崎城跡整備検討委員会関係経費	保存活用計画（H29 策定）に基づく整備基本計画策定に向け、検討委員会の開催について協議を行った。 ・協議回数 1回 (協議先 水野委員長)	委員長と協議を行い、今後の整備基本計画策定の課題について、共有することができた。	①継続	II - 11

名勝「けいの明神」保存活用検討委員会関係経費	国指定名勝「おくのほそ道の風景地 けいの明神（氣比神宮境内）」の保存活用計画策定に向けて、準備委員会を開催しました。 ・委員会の開催 1回	今後の計画策定に必要な課題を抽出し、委員会での共有を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 11
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
史跡武田耕雲齋等墓活用整備事業費	国指定史跡武田耕雲齋等墓の保全及び教育・観光への活用を図るため、史跡武田耕雲齋等墓保存整備委員会を開催し、今後の一体的な史跡整備の方向性を協議しました。 ・委員会の開催 4回	委員会を開催し、史跡の保存・活用の内容と整備方針などについて審議を行い、保存活用計画を策定しました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 11
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
文化財保護管理費	市内に所在する文化財を将来にわたって良好に保存・活用するために必要な保護管理（清掃管理・機械警備・植栽管理等）を実施しました。 ・史跡中郷古墳群、史跡玄蕃尾城跡、史跡武田耕雲齋等墓、名勝柴田氏庭園、史跡足壇城跡、旧敦賀港駅ランプ小屋、史跡武田耕雲齋本陣跡（旧新保陣屋）、史跡駐輦の碑、小刀根トンネル、第19連隊記念碑、木ノ芽古道、深坂古道	適切な保護管理を実施することで、文化財の保全を図るとともに、それら文化財の公開を行うことで市民の文化財保護意識の向上を図ることができました。 また、一部文化財について地元住民による管理が実施されており、住民による文化財保護の推進が図られています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 1 Ⅱ - 11
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
文化財保存管理補助金	・国指定重要無形民俗文化財の「敦賀西町の綱引き（夷子大黒の綱引）」の実施と事業伝承のために発足した、敦賀西町の綱引き伝承協議会に対し支援しました。 ・無形民俗文化財の保存継承と後継者の育成を図るため、実施4団体（4行事）に対し支援しました。 ・私立敦賀郷土博物館に所蔵されている指定文化財等の管理保存のため、同施設に補助しました。 ・指定文化財の保存、修理、管理のため、西福寺（書院庭園の植栽剪定）、に対し補助しました。 ・国指定名勝おくのほそ道の風景地けいの明神（氣比神宮境内）の保存のため、氣比神宮（境内の防災設備修理）に対し補助しました。	継承に苦勞している地域もあるが、全体としては多くの行事が継承されており、文化財の保護と次世代への継承に繋がっています。 また、地元の努力と行政による支援によって認知度が向上しており、そのことが担い手の意識を向上させ、文化の継承に繋がっています。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 11
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
文化財広報普及事業費	文化財保護活動への意識向上及び広報普及のための事業を実施しました。 ・金ヶ崎城跡パンフレットの作成 ・文化財説明標示板等の修繕（西方寺お砂持神事標示板、駐輦の碑標示板） ・福井の日本遺産活用促進事業補助金（つるがの山車保存会の子ども向けパンフレット作成事業を補助）	文化財の魅力を広く広報することで、文化財の認知度が向上し、市民の文化財保護に関する意識醸成を図ることができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 11
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

<p>文化芸術企画支援事業費</p>	<p>舞台芸術文化の振興と向上のため、演劇や音楽、伝統芸能などの文化芸術事業を自主的に企画・実施する団体を公募し、支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラシック敦賀「きずな 夢 コンサート 市民音楽祭 2020 in 敦賀プラザ萬象」 ・『森は生きている』実行委員会 「オペラ『森は生きている』」 	<p>舞台芸術を中心に文化芸術事業を自主的に企画・実施する団体の活動支援をすることで、市民が主体となる高度な舞台芸術文化の振興と向上を図ることができました。新型コロナウイルスの影響で補助実績は低調でしたが、事業の需要自体が減じた訳ではないので、継続していきたい。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 16</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
<p>文化振興事業費</p>	<p>芸術文化の振興を図るため、各種文化事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共催、後援による支援 (27 事業) ・市民ギャラリーの開催 (年 12 回展示替え) ・文化芸術活動激励費の贈呈 (10 名、2 大会) ・文化芸術及び科学技術活動優秀賞表彰 (3/19 実施 2 名) 	<p>市民ギャラリーでの作品展示によって文化活動の支援及び市民の文化意識向上につながりました。文化芸術・科学技術分野で活躍する市民を激励、表彰することで活動に対するモチベーションを高め、本市の文化水準の向上を図ることができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	A	効率性 (人員)	A	<p>①継続</p>	<p>II - 16</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	A												
効率性 (人員)	A												
<p>文化団体等補助金</p>	<p>本市の歴史文化、芸術の振興を図るため、公益的な活動を行っている団体に対し支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気比史学会 主催事業 市民歴史講座の開催 (4 講座 受講者延 248 名) ・敦賀市文化協会 主催事業 (教育委員会共催、後援又は補助した事業) 曾良忌 市民文化祭 (総合展示、花展・茶会、芸能第 1 ステージ、同第 2 ステージ) (5 事業 参加者等延 2,698 名) ・敦賀水戸烈士遺徳顕彰会 史跡武田耕雲斎等墓周辺の保全管理 水戸烈士遺徳顕彰事業の開催 水戸天狗党に関する普及啓発活動 水戸烈士記念館(旧緋倉)の管理 等 	<p>気比史学会は歴史に立脚した市民文化を構築するため、テーマを工夫して定め、幅広い市民が郷土史への関心を持てるよう努めており、本市の歴史文化の振興に大きく寄与しています。</p> <p>文化協会事業は、新型コロナウイルスの影響を直接的に受け、低調に終始することとなったが、継続的活動を維持する趣旨から、必要な補助を継続していきたい。</p> <p>敦賀水戸烈士遺徳顕彰会は史跡環境の保全活動、普及啓発活動により、史跡の環境保全、郷土の歴史文化の普及に寄与しています。また、遺徳顕彰活動により姉妹都市水戸市をはじめとする関係自治体との交流にも寄与しています。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 9</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

<p>つるが芭蕉紀行開催事業</p>	<p>「杖措きの地 敦賀」を広く内外にPRし、俳句を通じた文化振興を図るため、「奥の細道」つるが芭蕉紀行全国俳句大会を主催する敦賀俳句作家協会に対し補助しました。なお、新型コロナウイルスの影響で事業規模が縮小（当日大会を中止し、事前投句のみ実施）したため、補助額を調整した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投句数 投句（一般） 864 句 （こども） 3,145 句 	<p>令和元年度は奥の細道の旅330年を記念して事業規模を拡大したが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で例年以上に事業規模が縮小した。しかしながら、事前投句数は令和元年よりも伸びており（令和元年 一般 684 句 こども 2,505 句）、普及啓発の効果があったと評価している。今後は、特に若年層への文化の継承を課題として、事業を継続していきたい。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 16</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
<p>市民文化センター運営事業費</p>	<p>指定管理者による施設の管理運営を行い、指定管理者に指導、助言を行いました。</p> <p>利用件数実績 291 件 (R1 354 件) 利用人数実績 11,194 人 (R1 33,776 人)</p> <p>※新型コロナウイルスの影響で 4 月 18 日から 5 月 18 日まで休館</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で年度当初から利用控えがあり、利用実績は低調に終始したが、指定管理者による効率的かつ効果的な施設の管理運営は継続して行われていたものと評価しています。（休館中とその前後のコスト削減努力もあり、結果的には協定に基づく収益分の納入もありました。）</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>A</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	A	効率性 (人員)	A	<p>①継続</p>	<p>II - 1 II - 9</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	A												
効率性 (人員)	A												

博物館 自己点検・評価報告書（まとめ）

展示会開催

新型コロナウイルスの感染防止対策が求められる中で、敦賀市立博物館は早くから営業を再開し、来館者を受け入れてきました。展示活動も一部の変更に留めて当初の計画通り実施し、感染地域への移動を控える反動もあって、例年より県内から多くの来館者がありました。行動が大きく制限されるコロナ禍にあっても文化的体験への需要に応えることができたことは、地域博物館として大きな経験になったと考えています。特に特別展においては、館蔵資料が改めて評価され、文化的に質の高い展示となっただけでなく、感染対策に注力しながら職員一丸となって企画を盛り上げ、また地域の協力もあってこれまでにない取り組みもできました。来館者が展示を通して得る感動をこれまでになくダイレクトに受け取ることができるような取り組みは、学芸員のモチベーションにもつながるものであり、今後も取り組んでいきたいと考えます。

文化財多言語整備事業

地域の歴史系博物館にとってインバウンド対応は口で言うほど簡単ではありませんが、今回館のホームページや、重要文化財・旧大和田銀行本店建物の解説を整備できたことは、外国からのお客様に対するサービスを大きく向上させることに繋がったと感じています。今後は英語以外の外国語対応や、より一層の個別のコンテンツの充実なども図っていききたいと考えます。

調査研究

新型コロナウイルスの感染拡大防止による民俗行事の中止や、市内外への調査活動も制限がかかり、従来通りに調査が行えない一年となりました。山車の総合調査については幸い計画していた解体調査を行い、これまでにないデータを得ることができました。また資料整理やデータ入力なども例年より進めることができたと感じています。県外旅行の難しさから、市内のみならず県内小中学校の利用が増えており、調査成果の蓄積をより一層校外学習などに活用していけるよう工夫していきたいと思えます。

館蔵品購入

郷土の歴史・文化を示す貴重な資料を購入することが出来ました。今後も地域の歴史文化を語る上で不可欠な資料を収集してまいります。

館蔵品記録整理事業

館蔵資料のデジタルデータ蓄積は例年通りの規模でしたが、新設のホームページと収蔵品データベースを紐づけし、データベースの利用促進が一層期待されるため、データベースで公開する資料の登録作業を引き続き進めていきたい。

管理運営

基本的な施設管理については従来通りでしたが、感染予防措置としてドアノブの消毒など新たな管理業務が増えたほか、そうした作業が文化財建物に与える影響について配慮する必要があり、

今後も経過を観察していく必要があります。また、本年度は館内電灯の交換時期が相次ぎ、文化財である本館建物を永続的に保存・活用していくためにも、計画的な予算要求及び修繕を実施する必要があります。

○博物館

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類
博物館協議会委員の活動	協議会を3回開催し、博物館の諸活動に対し、市民や有識者の立場からの意見を聞くことができました。	博物館の運営・活動に対して、前向きな評価やご意見をいただいています。	①継続	I - 10
調査研究	館蔵資料や問い合わせ対応にかかる調査、市内民俗行事などの調査、敦賀の山車総合調査の継続調査として解体調査を行いました。また調査成果として展示や教育普及活動を行い、研究紀要を発刊しました。	資料整理、調査研究業務の停滞はゆるやかに進展しており、その成果を展示や教育普及にも生かしています。	③拡大	II - 1
館蔵資料の収集	美術工芸資料1、歴史資料2件を購入しました。	郷土の歴史・文化を示す貴重な資料を購入することができました。	①継続	II - 1
文化財多言語解説整備事業	重要文化財・旧大和田銀行本店本館(敦賀市立博物館)の多言語ホームページを構築、館内多言語解説パネルの作成、館外建物解説看板の作成を行いました。 また、ホームページ新設にともない、学校の教員へ向けた「博物館利用の手引き」を作成・公開し、校外学習での博物館利用を導く仕組みづくりを構築できました。	多言語対応の独自のホームページを立ち上げ、博物館の広報発信力を高めることができた。解説類を充実できました。	②完了	II - 15
展示会の開催	特別展、企画展、各種行事を開催しました。特別展においては、これまでの資料収集の成果と評価を伝えるための展覧会を開催しました。コロナ禍であることを考慮し、市内、県内向けの広報に力を入れ、地元テレビ局や地元商店の協力によって、地域全体で展覧会を盛り上げる雰囲気づくりができました。新聞での連載などメディア発信も行い、これまでにない積極的な広報を行いました。これらの活動によって、特別展においては前年度を上回る来館者数となり、展示や当館コレクションの評価を得ることができました。 ・特別展「ふつうの系譜」おかえり展 会期中入館者 3,817 人 (R1 1,339 人) ・企画展「いわさきちひろかるた原画」展および各種テーマ展 ・特別展記念講演会、歴史講座、建物見学会、土蔵公開 入館者 7,303 人 (R1 9,826 人) 館外行事等参加者 205 人 (R1 702 人)	博物館の調査研究や資料収集の成果をコレクション展として発信しました。市民や県内外へ当館のコレクションの魅力を伝え、コロナ禍でありながら会期中の来館者は前年を上回り、好評を得ることができました。	①継続	II - 16

博物館管理運営	清掃、空調、消防、エレベーター機器点検、電灯交換等業務委託にて実施しました。	館内の安全・衛生は各種保守点検により保たれていますが、各種機器の交換時期にきています。文化財建物に配慮した施設管理を目指します。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 7
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
館蔵資料デジタルアーカイブ	<p>文書、絵図等関連資料の撮影を行い、デジタルアーカイブ化を進めました。</p> <p>また、新設のホームページと収蔵品データベースを紐づけし、データベースの利用促進を図りました。</p> <p>・取り込みデータ(カット)数 1000カット以上</p>	データ化する資料の幅を広げ、今後活用できる資料の画像を増やすことができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	A	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 16
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	A												
効率性 (人員)	B												

施設管理及び運営について

コロナ禍での山車行事の中止等の状況に合わせながら、郷土の誇る文化遺産である山車の保守業務を実施しました。例年のくん蒸のほか、山車格納庫の床の塗替えを3箇年計画で着手し環境改善を進めました。

管理運営面では、施設維持に係る業務委託、修繕等の継続した実施に加え、感染症対策として館内の消毒、飛沫防止フィルムの設置等を行いました。

平成9年度の開館から23年が経過しており、経年劣化や保守の終了等による修繕、部品交換または更新が必要となる設備（シアター設備等）もあるため、今後も点検結果を踏まえた計画的な予算要求および管理、改修が必要です。

土蔵改修事業について

懸案事項であった敷地内の土蔵（明治期建築）瓦屋根の改修工事を実施し、安全性を回復しました。台風被害等により瓦の落下等の危険性が高い状況であっても、改修費が高額なこともあり改修までに時間を要しました。今後は、文化財として存続させることの意義を明確にし、より有効な活用の検討を進め、市民の理解を得ていく必要があります。その前段階として、工事完成時にプレス向け現場見学会を開催し、土蔵の文化財的価値と修繕の意義を発信し、また、敷地内に案内看板を設置し、文化財の周知を図りました。

コロナ禍における入館者数および利用者対応等について

感染症拡大の影響により、入館者数4,242人（前年比55% 3,492人減）、入館料460,650円（前年比53%、407,100円減）の大幅減になりました。

市内各施設において休館、利用制限等、日々状況が変化する中、当館では23日間の臨時休館、座席数制限、体験コーナー撤去等の感染症対策と利用者情報の収集管理を行いました。利用促進では、継続している学校への案内は市内のみとしましたが、コロナ禍により県内学校の利用は増加しました。学校が利用する際は担当教諭との事前確認を行い、県外客に対しては、敦賀市で差別的な扱いを受けたという印象を与えないよう、感染症対策を徹底した上で丁寧なもてなしを心がけました。

展示活動では、山車巡行の中止を受け、つるがの山車保存会との共同企画展を行い、今後の展示内容の充実を図る上での一形態を模索する契機となりました。情報発信は最低限にとどまりましたが、博物館と同時に館独自のWEBサイトを整備し、学校向けの利用の手引きを作成しました。次年度以降の広報活動の強化に繋がります。

まとめ

今年度は、コロナ禍という前例の無い状況の中、変更を余儀なくされる事項もありましたが、施設管理は概ね順調に実施する事ができました。教育・観光の両面から不特定多数を受け入れる施設としては、開館か休館か、また開館した時の誘客活動の是非等、判断に迷う場面にも遭遇しました。来館者アンケートによる満足度は、98.5%（回答507人）と高評価を保てましたが、開館時のより良い対応、多様なサービスの提供方法等について、他施設とも情報共有を図りながら模索していく必要性を感じました。

〇みなとつるが山車会館

事業名	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類									
管理運営 (その他)	<p>経年劣化し、山車の保守作業に支障をきたしている山車格納庫床の塗替えを3箇年計画の1年目として実施しました。</p> <p>その他、冷却塔補給水配管や事務室排煙窓、別館通路等、18項目の修繕を実施し、施設の維持、改善に努めました。</p> <p>コロナ禍のため、県外向けの誘客は行わず、県内他市町学校の修学旅行等での利用増加(前年比800% 2校→16校)に際しては、感染症対策を徹底し受け入れを行いました。</p> <p>中止された祭りの時期に、山車保存会との共同企画展を実施し、山車のPRに努めました。</p> <p>博物館の新ホームページ整備事業にあわせ、当館にも新たなWEBサイトを整備しました。</p>	<p>感染症拡大防止のため山車の入替えは行われませんでしたでしたが、例年通りの燻蒸と格納庫床の改修により山車の保全、環境改善が進められました。</p> <p>施設修繕等により正常な管理運営が維持されました。</p> <p>コロナ禍による県内学校の利用増加のほかは、来館者数・収入共に大幅減となりましたが、状況に応じた展示の企画により山車のPRと、つるがの山車保存会との共同企画という新たな取り組みを模索できました。</p> <p>会館独自のサイト整備により情報発信力の向上が図られました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>C</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	C	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 1 Ⅱ - 7 Ⅱ - 11
有効性	C												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
管理運営 (保守管理)	<p>清掃、警備、消防設備等、各種機器点検を業務委託により継続して実施し、確認された誘導灯、空調設備等の不具合を修繕しました。</p>	<p>保守管理の確実な実施により設備の正常な運用、改善が図られ、施設の安全性、快適性が保たれました。今後も、経年による設備更新等を視野に入れた、計画的な管理運営が必要です。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	①継続	Ⅱ - 1 Ⅱ - 7 Ⅱ - 11
有効性	A												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												
土蔵改修事業	<p>経年劣化及び台風被害等により、雨漏りや屋根瓦の落下等の危険性が高かった敷地内の土蔵(明治期建築)の改修工事を実施しました。工事の際、外壁の劣化進行が判明したため、あわせて修繕を実施しました。</p> <p>また、プレスを対象に工事の現場見学会を開催しました。</p>	<p>懸案事項であった屋根の改修により安全性が回復しました。</p> <p>工事と同時に修繕を行う事で、経費の削減が図られて、改善、美観向上の成果を得ました。</p> <p>今後、保存・活用を検討していく前段階として、現場見学会において、土蔵の文化財的価値と修繕の意義を周知できました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性 (人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性 (コスト)	A	効率性 (人員)	B	②完了	Ⅱ - 1 Ⅱ - 7 Ⅱ - 11
有効性	A												
効果性	A												
効率性 (コスト)	A												
効率性 (人員)	B												

スポーツ振興について

市民一人ひとりが、身体的、精神的、環境的に多様化する日常の中で、いかに明るく豊かで活力のある生活を送ることができるかを念頭に置き、各種スポーツ関連団体の育成・指導に力を注いで参りました。

スポーツは、競い合うこともさることながら、生涯に亘って自らの健康状態を自覚するとともに、健康の増進に努めなければならないことを自省する上でもとても意義のある方法であり、地域再生や医療費削減の手法として、非常に重いウエイトを担う位置づけとなっております。

元気な高齢者と反して、バーチャル環境に身をおき、体力低下や生活環境の悪化に苦しむ子ども達には様々な機会の提供が必要不可欠であり、その先駆けの取り組みができたと考えております。

令和2年度の各スポーツの振興に関する事業の参加者数は2,750人（前年度12,387人）となり、昨年度と比較して大幅に減少いたしました。減少の要因としては、敦賀マラソン大会や市民スポーツ祭等、令和2年度に実施を予定していたスポーツ振興課主催事業のほとんどが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったこと、また、スポーツ協会やスポーツ少年団等、市民のスポーツ活動が、同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため制限されたことなどが考えられます。結果として、第6次総合計画後期基本計画の最終年度に、平成28年度の目標年次に掲げた17,450人という目標値を大きく下回ることとなりましたが、令和2年度が過去に類を見ない情勢での活動となったこともあり、感染症対策等、この1年間で得た経験や見識等を活かしつつ、コロナ禍のような状況でも市民の皆様が安心してスポーツに取り組む環境づくりを行い、今後もさらなる競技力向上やスポーツ人口の拡大等について、鋭意努力を行ってまいります。

また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催することが出来なかった優秀指導者を招いたスポーツリーダーセミナーやコンディショニングセミナー等、質の高いセミナーや教室・行事を今後も開催し、本市の競技者や指導者の資質向上及びスポーツ人口の拡大に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

これらのスポーツ振興事業と平行しながら、スポーツを学び、スポーツで学ぶことのできる環境の整備を進めるとともに、市民総スポーツ実現のため、普及・振興を図り、人を育み、文化を創る都市づくりを目指します。

スポーツ施設について（運動公園を除く）

市内には14の体育施設があり、令和2年度の総利用人数は100,258人（前年度154,959人）となり、前年度と比較すると54,701人の減少となりました。第6次総合計画では平成28年度の目標年次に200,000人という目標値をかかげており、最終年度となった令和2年度、目標値からは約10万人下回るという結果となりました。

減少した大きな理由として、本市の新型コロナウイルス感染症対策として、令和2

年4月から5月において、感染症拡大防止のため市内スポーツ施設の使用を中止した期間（屋内施設と屋外施設によって期間は異なる）があり、また、年間を通じて新型コロナウイルスによる利用キャンセルが相次いだり、施設の使用申請件数も少なかったりと、全体において新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったものと考えられます。現在も感染症対策を講じたスポーツ施設の管理運営を行っておりますが、これまでも実施している日々の施設点検等を怠ることなく、今後も利用者が安心してより良い環境でスポーツに取り組むことが出来るよう、施設の維持管理等に取り組み、今後のスポーツ振興及び利用者の拡大等に繋げていく必要があると考えております。

現在、ほとんどの施設で受付や清掃等を委託しており、目標到達に向け、今後は更に利用者に対する接遇の向上や安全で安心して利用できるスポーツ施設を心がけて参ります。

指定管理者制度導入につきましては、平成18年度に「きらめきスタジアム」で導入し、平成28年度から新たに5年間の指定管理者として引き続き敦賀市ソフトボール協会が選定されています。また、平成20年度からは「武道館」も指定管理者制度を導入していますが、平成30年度から5年間の指定管理者として引き続き敦賀市シルバー人材センターが選定されております。両指定管理者ともに、受付から許可書の発行などスピーディな事務の実施を行うなど、市民サービスの向上と人件費等の経費削減を図りましたが、各施設の利用人数については、主たる利用団体等が新型コロナウイルス感染防止のため活動を自粛したことなどを受けて、それぞれ減少となりました。

施設の主な修繕関係では、各施設の老朽化が著しい箇所や設備について適宜修繕を行い、施設の整備促進及び維持管理に努めました。しかし、これらのスポーツ施設を含め、効果的な施設の運営を実施するためには、一般利用者はもとよりスポーツ協会、学校関係者や地域の各種団体との連絡調整が重要となっております。

総合運動公園について

市民の憩いの場として親しまれている総合運動公園は、市民だけでなく県内外から年間115,945人（前年度180,626人）の利用者がありましたが、第6次総合計画では平成28年度の目標年次に240,000人という目標値をかかげており、最終年度となった令和2年度は約12万4千人下回り、目標を達成することができませんでした。減少の要因として、令和2年4月から5月において、感染症拡大防止のため市内スポーツ施設の使用を中止したことや、年間を通じて新型コロナウイルスによる利用キャンセルが相次いだり、施設の使用申請件数も少なかったりと、市内スポーツ施設同様に新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったことが考えられます。今後、総合運動公園が立地する地域周辺ならではの自然の美しさ、豊かさを提供し、万全な感染症対策を施し、安全、安心な施設として利用できるように努力して参ります。

令和2年度における施設の修繕状況等については、例年と同様に施設の老朽化により修繕等が頻発しました。主な修繕・工事としては、第2競技場手動折畳式バスケット装置取替修繕、移動式バスケットゴールパネル取替修繕、汚水ポンプ [P-2-1] 取

替修繕、体育館吸収冷温水機 [R-1-1] 気密不良箇所修繕、ちびっ子広場遊具修繕、ローラー滑り台修繕、第2体育館排煙窓修繕、大型複合遊具修繕、野球場防水修繕、消防設備不良箇所修繕等を実施しました。毎年のように各施設の経年劣化による老朽化が進み、修繕が増える傾向にありますが、予算の削減に伴い、例年、職員による作業等で対応する機会が増えております。一方で、陸上競技場トラック及びインフィールドの改修、野球場スコアボードのLED表示盤への更新や、ちびっ子ゲレンデ人工芝の張替等、施設の利便性や安全性向上に繋げるための改修工事を実施いたしました。また、プールにおいても、排水ポンプ取替修繕、屋内プール排水バルブ設置修繕、温水プール配管修繕、貯湯槽昇温系統三方弁取替修繕、25mプール系統サプライチャンバー内貼修繕、昇温循環ポンプ取替修繕、給湯配管基バルブ修繕等、劣化により設備の故障、修繕が続いています。

このような状況を踏まえ、今後も、運動公園施設の老朽化に伴う改築コストの平準化など計画的な整備計画を行うため、運動公園の長寿命化計画を基に、運動の拠点として、地域住民が生涯にわたり各種のスポーツ活動を主体的、継続的に実施できるように一層の施設環境の整備、充実を図り、安全、安心な施設づくりを目指します。

ス ポ ー ツ 振 興 課

【スポーツ振興課の事務分掌】

- (1) スポーツ振興審議会に関すること。
- (2) スポーツ推進委員に関すること。
- (3) スポーツ施設の設置・管理・貸与及び廃止に関すること。
- (4) 社会体育並びにレクリエーションに関すること。
- (5) 市民の体位の向上・スポーツの推進に関すること。
- (6) スポーツ団体の指導育成に関すること。
- (7) 全国高等学校総合体育大会に関すること。
- (8) 総合運動公園の管理運営に関すること。
- (9) 武道館の管理運営に関すること。
- (10) その他社会体育に関すること。

【自己点検・評価】

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類						
スポーツ振興審議会の活動	スポーツ基本法第31条の規定に基づき、敦賀市スポーツ振興審議会を設置、施設の整備や事業、競技力向上など、スポーツの振興に関する事項について調査審議し、スポーツ振興に寄与しました。 年2回開催 延べ10名出席	スポーツの振興に関する重要事項等について、中立公正な立場から調査、審議及びその決定を行っています。	①継続	Ⅱ - 10						
		<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>			有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B
有効性	B									
効果性	B									
効率性(コスト)	B									
効率性(人員)	B									
総合型地域スポーツ活動推進事業	一般・中高年向けスポーツ教室の開催、イベントの開催(計3種目、9教室) ・エクササイズ、アクアエクササイズ、スキー(スキー、スノーボード) ・ニュースポーツ普及のための各種教室・行事の開催 スティックリング教室、市民スティックリング大会 ※例年実施しているニュースポーツ体験王 国、スポーツリーダーセミナーは新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止。 ・総合型地域スポーツクラブ等の育成(2団体): 軟式野球連盟、テニス協会 ・総合型地域スポーツクラブ運営補助(1団体): 敦賀北スポーツクラブ	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した教室もありましたが、例年、スポーツ教室には募集定員を超えるものもあり、市民の健康への意識の高さが窺われます。 また、北スポーツクラブは積極的に市の事業に協力・参加しており、活動も活発に行っています。	①継続	Ⅱ - 10						
		<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>			有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B
有効性	B									
効果性	B									
効率性(コスト)	B									
効率性(人員)	B									

敦賀マラソン大会	<p>例年、10月第3日曜日に市民の健康増進及びマラソン競技普及のため、敦賀マラソン大会を開催しておりますが、令和2年度（第39回）敦賀マラソン大会につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。 （令和3年3月補正にて、減額補正）</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度はやむなく開催中止となりましたが、今後も、マラソン競技の普及と市民の健康増進のため、地域住民諸関係団体との連携のもと取り組みます（令和3年度についても、新型コロナウイルス感染防止のため開催中止）。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
スポーツ推進委員の活動	<p>地域でのスポーツ活動やニュースポーツの普及・振興をはじめ、スポーツ教室の指導、各種大会の運営補助等を行いました。また、指導者を対象とした実技等の研修会に参加し、指導面と技術向上に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ教室（スティックリング）における実技指導と普及振興 ・市主催大会への運営補助（市民スティックリング大会） <p>※ニュースポーツ体験王国、野坂山市民登山等への運営補助については、各種大会が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 ※出前講座、体験教室等の指導者派遣については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため要請なし。 ※例年開催される全国研修会、北陸研修会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p>	<p>指導者のスキルアップを目的とした実技研修の実施と他市町との情報交換を行いました。また、例年、様々な世代の市民に対し、ニュースポーツを普及するため、出前講座や教室に講師を派遣しておりますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染防止のため、派遣実績等は減少しました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
スポーツ振興補助金	<p>市民の健康推進を根底に市民登山を実施しております。また、各種大会の補助を通じてスポーツ振興を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第50回福井レガッタの開催に補助 8月29・30日 第51回福井レガッタ <p>※例年、開催補助を行っている野坂山市民登山、気比の松原招待サッカー大会については、新型コロナウイルス感染防止のため中止。</p>	<p>例年、夏休み、海水浴シーズンに開催されることでスポーツによる交流だけでなく、観光や宿泊などへの経済効果も図られました。また、野坂山登山道の補修について、野坂山振興会、山の会等の協力によりシーズン中の登山者の安全が確保されました。ただし、例年実施している野坂山市民登山、気比の松原招待サッカー大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
野球フェスティバルの開催	<p>例年、市長旗高校野球大会と小・中学生軟式野球大会を同時に野球フェスティバルとして開催しておりますが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました（令和3年3月補正予算で減額補正）</p>	<p>令和2年度については、新型コロナウイルス感染防止のため開催中止となりました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	II - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

<p>県民スポーツ祭参加費補助金</p>	<p>生涯にわたって元気で活力のあるスポーツライフを実現しようとする県民スポーツ祭の市町対抗の部へ本市選手団を派遣する敦賀市スポーツ協会に対し助成し競技力の向上を図りました。</p> <p>なお、令和2年度大会については、新型コロナウイルス感染防止のため、出場辞退または大会中止となった競技が複数ありました。</p> <p>令和2年7月19日から令和2年9月27日までの間、選手・役員 計176人（前回530人）を派遣し、旅費及び強化費の助成を行うことにより、敦賀市の代表としての意識づけと競技力の向上を図りました。</p> <p>1位 2団体（2種目）、 2位 2団体（2種目）、 3位 5団体（6種目）</p>	<p>令和2年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため複数の競技大会の開催が中止となるなか、10種目で入賞を果たし、例年多くの種目で入賞選手が出るなど、全体的に選手の競技力の底上げ、向上が着実に図られていると考えます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
<p>スポーツレベルアップ事業</p>	<p>本市スポーツのレベルアップを図るため、ジュニア層の強化を図るとともに、指導者を育成し、競技力の底上げを行いました。また、全国大会出場選手等の激励顕彰を行い、選手の向上心を高め、競技スポーツの技術向上に繋がりました。</p> <p>ただし、令和2年度については、多くの全国大会等が新型コロナウイルス感染防止のため中止となったため対象者が激減し、また、例年実施している優秀指導者招聘事業についても同様の理由により開催を中止しました。</p> <p>全国大会出場選手激励事業 団体 6団体、個人 12名 優秀選手市長表彰事業 団体 0団体、選手 2名 強化指定種目補助事業 7団体</p>	<p>優秀指導者等によるセミナーについては、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となりましたが、強化指定種目補助を行うことにより、指定クラブ等が全国大会レベルで活躍する選手を輩出するなど、指導者の資質向上、選手の競技力向上に繋がることが出来ました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
<p>スポーツ振興の支援（スポーツ少年団）</p>	<p>スポーツを通じて心と身体を鍛え、たくましい活力に満ちた生活を営み、互いに協調、協力しあえる青少年の育成を目的に各団が特色ある活動を行っています。また団員同士の交流活動を行いました。</p> <p>・37団、902人が団員として登録 ・12月から1月にかけて単位団ごとに体力テストを実施 24団 446名が参加</p>	<p>全国的に、少子化による個々の団における団員数の偏りが顕著となっています。今後、未加入の子供にスポーツへの関心をたかめ、体を動かす楽しさを浸透させるため PR を行う必要があります。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

<p>スポーツ振興の支援 (スポーツ協会)</p>	<p>心身共に健康で実践力に満ちた市民育成を念願し、活動の充実と、より一層関心を深めるため、競技力の向上と市民総スポーツを目指して活動する市スポーツ協会に対し支援を行いました。(競技力向上に関する事業、社会体育振興に関する事業)</p> <p>市民スポーツ祭や加盟団体による各競技大会の運営等においてもスムーズに進めることができました。また、ジュニア層の育成等に積極的に取り組むなど加盟団体独自での活動も活発に行われています。</p> <p>ただし、令和2年度は新型コロナウイルス感染防止のため、各地区スポーツ協会での行事等の中止のため、地域振興補助事業3地区から返還がありました(@100,000円×3地区)。</p>	<p>各競技団体においては、従来の活動に加えジュニア層の育成など活発になってきています。しかし、活発になればなるほど活動場所の確保が困難となっており、屋内外問わず調整が必要と考えられます。地区体協においては、スポーツを通じて世代間交流・健康増進等に大きな役割を果たしています。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>Ⅱ - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
<p>国内スポーツ交流事業</p>	<p>友好都市である各務原市の市民と敦賀市民が、スポーツを通じて友好を深めるとともに競技力の向上を図りました。</p> <p>なお、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、軟式野球、剣道競技とも中止となりました。</p>	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、交流事業は中止となりました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>Ⅱ - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
<p>市民スポーツ祭の開催</p>	<p>例年、スポーツを通じた市民の健康と体力増進、市民相互の親睦と交流を深めることを目的として、市民スポーツ祭を開催しておりますが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染防止のため中止しました(令和3年3月補正で減額補正)。</p>	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>Ⅱ - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
<p>選抜高等学校野球大会出場 激励費</p>	<p>甲子園に出場する市内の高校(敦賀気比高等学校)に対し激励費の贈呈を行いました。</p> <p>大会期日:令和3年3月19日から13日間</p> <p>成績:1回戦 常総学院(茨城)×5-9</p>	<p>惜しくも1回戦敗退となりましたが、大会初のタイブレークでの敗戦となるなど、その健闘は多くの敦賀の全市民に活力と感動をあたえ、敦賀気比高校の名前とともに敦賀市の名を全国にアピールすることができました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>②完了</p>	<p>Ⅱ - 10</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
<p>全国高等学校総合体育大会 関係経費</p>	<p>令和3年度に本市にて全国高等学校総合体育大会(インターハイ)ソフトボール競技が開催されることから、円滑な競技運営に繋げるため、参考となる全国大会(第39回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会)等の視察やその他準備事務等を行いました。</p>	<p>令和2年度インターハイが新型コロナウイルス感染防止のため開催中止となりましたが、全国大会等の競技会場や運営体制等の視察を行うことで、令和3年度の大会開催に対する見識の取得や情報収集を行うことが出来ました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	<p>①継続</p>	<p>Ⅱ - 10</p>
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

東京オリ・パラ聖火関連事業費	東京オリンピック・パラリンピックが新型コロナウイルス感染症拡大に伴い延期となったことを受け、令和2年5月30日（土）に開催予定だった「2020東京オリンピック聖火リレー」も延期となりました。 （令和3年3月補正にて減額補正）	令和2年度の「2020東京オリンピック聖火リレー」が延期となり、令和3年度の円滑な事業運営に向け、関係機関や競技団体等との協議を行います。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
指定管理者候補者選定委員会運営費	敦賀市きらめきスタジアムについて、指定管理者（敦賀市ソフトボール協会）による指定管理期間が令和3年3月31日で満了となることから、令和3年度以降の指定管理者候補者を選定するため指定管理者候補者選定委員会を設置し、敦賀市ソフトボール協会を次期指定管理者候補者として選定し、敦賀市長へ答申を行いました。	敦賀市ソフトボール協会を次期指定管理者候補者に選定したことで、これまでと同様に指定管理者と連携を密に行い、安定的な施設運営に努めます。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	②完了	Ⅱ - 1 Ⅱ - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
学校体育施設開放事業	2校（小学校1校、中学校1校）のグラウンドを夜間開放。4月から10月までナイター利用として一般開放しました。定期的に日程調整の抽選会を行い、スムーズにナイター利用ができるよう努めました。 なお、令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により利用実績が減少しました。 ○利用者数 474 人（前年度 1,550 人） ※前年度増減比 30.58%	新型コロナウイルス感染症による影響や、雨等による天候不順の影響により、昨年と比べ年間利用者数は減少しましたが、管理面では大きな問題は無く、安全に運営することができました。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ - 1 Ⅱ - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
体育館管理運営	大きな大会などに利用できるような施設利用の日程調整など管理運営を行うとともに、住宅地の中にあり個人利用も多いため、益々の利用促進に努めました。 なお、令和2年4月23日から5月18日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉館しました。 ○利用者数 23,177 人（前年度 31,704 人） ※前年度増減比 72.92%	運動公園体育館に次いで広く、唯一フットサルやインドアテニスなど冬季間の利用が出来る施設でもありますが、管理している体育館では一番古く、老朽化が進んでいるため、今後も安全で利用しやすい施設として管理運営に努めます。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ - 1 Ⅱ - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
野球場管理運営	施設の再開場に向けた整備・修繕を実施し、場外飛球防止のため試合やバッティング練習を禁止する等、利用方法を制限したうえで、平成29年7月28日より施設を再開場しています。再開場後も効率的な運営や安全確保に努め、施設の維持管理を行いました。 ○利用者 925 人（前年度 2,115 人） ※前年度増減比 43.73%	施設修繕や関係団体等との調整を行い、平成29年7月28日より施設を再開場しております。ただし、施設全体の老朽化が顕著であり、今後の活用策に検討を進め、方針を導き出す必要があります。	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ - 1 Ⅱ - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

花城テニスコート管理運営	<p>手軽なスポーツとして利用していたくために安い料金設定にしており、また継続的に利用される方には年間利用券などを発行し利用促進を図りました。</p> <p>なお、令和2年4月23日から5月10日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉館しました。</p> <p>○利用者数 12,879人(前年度 14,368人) ※前年度増減比 89.64%</p>	<p>当テニスコートは主に個人利用、運動公園テニスコートは主に団体利用と、両施設の特徴を生かした効率的利用を推進していきます。</p> <p>年間を通じて、大きな問題等もなく管理運営を行うことができ、今後も日々の点検等に注意を心がけ、安全で満足度の高い施設の管理運営に努めます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ - 1 Ⅱ - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
プール管理運営	<p>花城、愛発の2プールを7月中旬から8月中旬まで一般開放し、水泳の楽しさを通じた青少年の健全育成に努めました。</p> <p>ただし、令和2年度は新型コロナウイルス感染防止のため、各プールの開放を中止しました。</p> <p>○利用者数 0人(前年度 773人) ※前年度増減比 -%</p>	<p>平成28年度に桜ヶ谷プールを教育政策課(粟野小学校)へ所管換えを行い、運営方法の見直しを行って3年が経過しましたが、大幅な経費削減に繋がっています。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止による開放中止となりましたが、今後も、効率性を重視した施設の管理運営に努めます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	A	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ - 1 Ⅱ - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	A												
効率性(人員)	B												
東浦体育館管理運営	<p>東浦スポーツ協会による各種スポーツの練習場とした利用の他に、市内の企業・クラブからも利用があり、スポーツを通して健康増進のための施設運営を図りました。</p> <p>ただし、令和2年4月23日から5月18日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉館しました。</p> <p>○利用者数(グラウンド含む) 2,492人(前年度 3,298人) ※前年度増減比 75.56%</p>	<p>当体育館は規模が小さく、立地的にも市街地から遠方であり、主に練習会場として使用されている状況です。</p> <p>平成28年度において、地元住民(東浦スポーツ協会)の協力のもと管理運営方法を見直し、経費の削減に繋がっており、今後も、効率性を重視した施設の管理運営に努めます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	A	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ - 1 Ⅱ - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	A												
効率性(人員)	B												
粟野スポーツセンター管理運営	<p>スポーツ従事者の利用率が高い施設であり、効率的な利用促進と利用者の理解の中でスポーツの振興と推進を行いました。</p> <p>ただし、令和2年4月23日から5月17日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉館しました。</p> <p>○利用者数(グラウンド含む) 20,208人(前年度 31,661人) ※前年度増減比 63.83%</p>	<p>体育館のほかに、ナイターのできるグラウンドもあり、市民が利用しやすい環境となっております。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による影響により年間利用者数は減少しましたが、今後も日々の点検等に注意を払い、修繕箇所迅速な対応等、安全で満足度の高い施設の管理運営に努め、利用者数の増加に繋がります。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ - 1 Ⅱ - 10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

金山体育館管理運営	<p>体育館としては小さいため、市民対象の大会等は出来ないことから、主に地区の体育行事や日常的な利用推進を行いました。</p> <p>ただし、令和2年4月23日から5月18日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉館しました。</p> <p>○利用者数 4,016人（前年度 5,885人）</p> <p>※前年度増減比 68.24%</p>	<p>当体育館は規模が小さく、主に地区の体育行事や地域住民に日常的に利用されている状況ですが、大きな問題やトラブルもなく管理運営を行うことができました。</p> <p>今後も、日々の点検等に注意を払い、安全で満足度の高い施設の管理運営に努めます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ - 1 Ⅱ - 10																
有効性	B																												
効果性	B																												
効率性(コスト)	B																												
効率性(人員)	B																												
中郷体育館管理運営	<p>運動公園体育館に次いで利用者数が多い施設であり、効率的な利用促進と利用者の理解の中でスポーツの振興と推進を行いました。</p> <p>ただし、令和2年4月23日から5月17日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉館しました。</p> <p>○利用者数(グラウンド含む) 24,634人（前年度 39,910人）</p> <p>※前年度増減比 61.72%</p>	<p>市内のほぼ中心に立地し、グラウンドと大きな駐車場を兼ね備えており、また高速道路インターチェンジが近くにあり、県大会レベルの大会が開催されることが多く、利用推進に繋がっています。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ - 1 Ⅱ - 10																
有効性	B																												
効果性	B																												
効率性(コスト)	B																												
効率性(人員)	B																												
きらめきスタジアムの指定管理	<p>敦賀市ソフトボール協会が指定管理者として施設の管理運営業務を行い、ソフトボール競技の楽しさや競技力向上を図るため、グラウンド整備等の適正な施設管理や、申し込みから許可書発行等の利用者への迅速な対応等、利用者サービスを行いました。</p> <p>ただし、令和2年4月23日から5月10日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉館しました。</p> <p>○利用者数 1,457人（前年度 8,246人）</p> <p>※前年度増減比 17.29%</p>	<p>指定管理者として適正に管理運営を行っています。</p> <p>今後も、指定管理者と連携を密に行い、安定的な施設運営に努めます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ - 1 Ⅱ - 10																
有効性	B																												
効果性	B																												
効率性(コスト)	B																												
効率性(人員)	B																												
きらめきスタジアム駐車場整備事業費	<p>福井県が施行する敦賀駅東線街路工事事業に伴い減少するきらめきスタジアム駐車場の代用地として隣接する民有地を取得し、きらめきスタジアム駐車場として整備しました。</p> <p>〈該当民有地〉</p> <table border="1"> <tr><td>敦賀市中 29号尻前田 1番 1</td><td>22.46㎡</td></tr> <tr><td>〃 中 29号尻前田 1番 2</td><td>275.90㎡</td></tr> <tr><td>〃 高野 47号尻前田 2番 1</td><td>283.27㎡</td></tr> <tr><td>〃 若泉町 8番 11</td><td>2,352.41㎡</td></tr> <tr><td>〃 若泉町 8番 16</td><td>193.46㎡</td></tr> <tr><td>〃 若泉町 8番 17</td><td>165.02㎡</td></tr> <tr><td>〃 若泉町 9番 11</td><td>592.45㎡</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>3884.97㎡</td></tr> </table>	敦賀市中 29号尻前田 1番 1	22.46㎡	〃 中 29号尻前田 1番 2	275.90㎡	〃 高野 47号尻前田 2番 1	283.27㎡	〃 若泉町 8番 11	2,352.41㎡	〃 若泉町 8番 16	193.46㎡	〃 若泉町 8番 17	165.02㎡	〃 若泉町 9番 11	592.45㎡	合 計	3884.97㎡	<p>きらめきスタジアムの駐車場が県道布設工事に伴い減少しましたが、新たに隣接する民有地を取得、整備したことにより、結果的に駐車台数の増加し、利用者の利便性の向上に繋げることが出来ました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	②完了	Ⅱ - 1 Ⅱ - 10
敦賀市中 29号尻前田 1番 1	22.46㎡																												
〃 中 29号尻前田 1番 2	275.90㎡																												
〃 高野 47号尻前田 2番 1	283.27㎡																												
〃 若泉町 8番 11	2,352.41㎡																												
〃 若泉町 8番 16	193.46㎡																												
〃 若泉町 8番 17	165.02㎡																												
〃 若泉町 9番 11	592.45㎡																												
合 計	3884.97㎡																												
有効性	B																												
効果性	B																												
効率性(コスト)	B																												
効率性(人員)	B																												
武道館運営事業費	<p>敦賀市シルバー人材センターが指定管理者（20年度から）として、施設管理及び施設利用の申込みから許可書発行まで迅速に対応し、利用者サービスを行っています。また自主事業として骨の体操教室を開催し、利用者数の拡大に努めました。</p> <p>なお、令和2年4月23日から5月17日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、閉館いたしました。</p> <p>○利用者数 9,704人（前年度 13,549人）</p> <p>※前年度増減比 71.62%</p>	<p>指定管理者として適正に管理運営を行っており、また自主事業を実施し、利用者数の拡大に努めています。</p> <p>今後も、指定管理者と連携を密に行い、安定的な施設運営に努めます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ - 1 Ⅱ - 10																
有効性	B																												
効果性	B																												
効率性(コスト)	B																												
効率性(人員)	B																												

○総合運動公園

事業内容	取組み状況と成果	成果の分析と評価	今後の方向	分類									
運動公園陸上競技場改修事業	<p>平成30年度に行った陸上競技場改修工事設計委託業務の結果を基に、第3種公認陸上競技場としての新規公認取得に向けた改修工事を行い、公認検定を受けるために必要な経費、物品の購入を行いました。</p> <p>なお、本事業は令和元年度からの繰越事業です。</p> <p>【工事完了日】 令和2年8月31日</p> <p>【第3種公認陸上競技場検定】 令和2年9月5日～6日</p> <p>【供用開始日】 令和2年10月1日</p>	<p>昨年度から引き続き、運動公園陸上競技場第3種公認取得に向けた改修工事を行い、競技トラック、インフィールドの舗装を行いました。</p> <p>令和2年10月からの再開場以降、今後の円滑な利用について関係団体と協議を行い、きれいな状態を保つことが出来るよう、日々の点検などにも注意を心がけ、安全で満足度の高い施設の維持に努めます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	②完了	Ⅱ-1 Ⅱ-10
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
運動公園野球場改修事業費	<p>総合運動公園野球場の磁気反転式のスコアボードが経年劣化により、スコアボード上への情報が表示できないなど利用に支障を来し、更新のため改修工事に着手しました。</p> <p>【工事請負費】37,200,000円 (総合運動公園野球場改修工事 前金払)</p> <p>スコアボード表示盤他取替工(LED表示式)</p> <p>【相手方】酒井電機(株) 敦賀営業所</p> <p>【工期】令和3年1月19日～令和3年8月20日</p> <p>※本事業は、令和3年度への繰越事業です。</p>	<p>平成13年導入の磁気反転式スコアボードは老朽化が著しく、令和元年度中より作動に異常が発生していましたが、LED表示式スコアボードへの更新を行い、よりよい競技環境を利用者に提供できるよう努めます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ-1 Ⅱ-10
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
運動公園管理運営	<p>運動公園内各施設を安全・安心な施設として維持するための管理運営を行いました。施設の老朽化により、予定外の修繕等が多々発生しましたが、早急に対応しました。</p> <p>主な修繕・工事としては、第2競技場手動折畳式バスケット装置取替修繕、移動式バスケットゴールパネル取替修繕、汚水ポンプ[P-2-1]取替修繕、体育館吸収冷温水機[R-1-1]気密不良箇所修繕、ちびっ子広場遊具修繕、ローラー滑り台修繕、第2体育館排煙窓修繕、大型複合遊具修繕、野球場防水修繕、消防設備不良箇所修繕などです。</p> <p>さらに、簡易な修繕等は、職員で対応するなど、予算の削減に努めました。</p>	<p>施設の老朽化により、突発的な修繕が多々発生しましたが、早急に対応することが出来ました。</p> <p>今後もサービスの低下にならないよう、また早急な対応が出来るよう、日々の点検等にも注意を払い、安全で満足度の高い施設の維持に努めます。</p> <p>なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設を閉館したこと、また、年間を通じて、利用団体等が活動を自粛する傾向があり施設利用申請が少なく、利用者数は減となりました。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	①継続	Ⅱ-1 Ⅱ-10
有効性	B												
効果性	B												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												
運動公園ちびっ子ゲレンデ改修事業費	<p>総合運動公園ちびっ子ゲレンデの人工芝が経年劣化により摩耗が激しく、利用に支障を来しており危険な状態のため、人工芝の張替工事を行いました。</p> <p>【工事請負費】39,497,700円 (総合運動公園ちびっ子ゲレンデ人工芝張替工事)</p> <p>【相手方】岐建(株) 敦賀営業所</p> <p>【工期】(着工)令和2年10月30日 (完成)令和3年3月10日</p> <p>【供用開始日】令和3年4月1日</p>	<p>運動公園ちびっ子ゲレンデの人工芝は経年劣化が著しく、下地舗装がむき出しになるなど危険な箇所がありました。改修により、これまでよりも維持管理が容易な素材の人工芝を導入し、施設の利便性及び安全性の向上を図りました。</p> <p>改修後も日々の点検に注力し、安全で満足度の高い施設となるよう努めます。</p>	<table border="1"> <tr><td>有効性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効果性</td><td>A</td></tr> <tr><td>効率性(コスト)</td><td>B</td></tr> <tr><td>効率性(人員)</td><td>B</td></tr> </table>	有効性	A	効果性	A	効率性(コスト)	B	効率性(人員)	B	②完了	Ⅱ-1 Ⅱ-10
有効性	A												
効果性	A												
効率性(コスト)	B												
効率性(人員)	B												

<p>運動公園 プール管 理運営</p>	<p>清潔で安全な環境を維持し、利用者に満足度の高い水泳場を提供するため、快適で安全なプール環境の維持・管理に努めました。経年劣化等による大きな修繕としては、排水ポンプ取替修繕、屋内プール排水バルブ設置修繕、温水プール配管修繕、貯湯槽昇温系統三方弁取替修繕、25mプール系統サブライチャンバー内貼修繕、昇温循環ポンプ取替修繕、給湯配管基バルブ修繕、トレーニングルーム監視モニター修繕、地下機械室給湯配管修繕、25mプール男子更衣室系統電動三方弁交換修繕、駐車場区画線修繕等を実施しました。</p>	<p>施設の老朽化により、突発的な修繕が多々発生しましたが、早急に対応することが出来ました。</p> <p>今後も、利用者数の増加を目指し、早急な修繕等、利用に支障を来さぬよう対応を行い、清潔で安全な環境を維持し、利用者に満足度の高い施設の管理運営に努めます。</p> <p>なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設を閉館したこと、また、年間を通じて、利用団体等が活動を自粛する傾向があり施設利用申請が少なく、利用者数は減となりました。</p>	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (コスト)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>効率性 (人員)</td> <td>B</td> </tr> </table>	有効性	B	効果性	B	効率性 (コスト)	B	効率性 (人員)	B	<p>①継続</p>	<p>II - 1 II - 10</p>
有効性	B												
効果性	B												
効率性 (コスト)	B												
効率性 (人員)	B												

敦賀市教育委員会の自己点検・評価報告書に対する外部の知見

福井県立大学学術教養センター 黒田 祐二

はじめに

令和2年度の敦賀市教育委員会自己点検・評価について意見を述べる。令和2年度は、第6次総合計画と第1期教育振興基本計画の最終年度にあたる。当該年度に行われた事業の点検・評価のみならず、5年間の取り組み全体についても総括的な評価を行い、その評価を次期計画に活かすことが望まれる。

全体に関する意見

1. 「敦賀市教育委員会事務の自己点検・評価報告」について

(1) 第6次総合計画の目標達成度

令和2年度はコロナ禍のため事業の縮小・中止が相次ぎ、それが実績に大きく影響した。そのため令和2年度の実績から第6次総合計画の目標達成度を評価することは困難である。

しかしながら、令和元年度までの実績を見てみると、目標値に遠く届いていないものが多い。ここから、仮に令和2年度が通常通りであったとしても、多くの事業で目標達成が難しかったであろうと予想される。こうした状況をしっかりと受け止めて、第7次総合計画での取り組みに活かして頂きたい。

また、今回の自己点検・評価では、第6次総合計画の総括的な評価がほとんどなされていなかった。自己点検・評価は基本的に単年度のものであるが、総合計画の最終年度では総括的な評価を行うことも必要になるであろう。

(2) コロナ禍での取り組みについて

コロナ禍が収束する見通しは立っておらず、今後も様々な制約の中で事業を進めていくことになる予想される。同じような状況下でより効果的に事業を進めていくためには、今回のコロナ禍でどのような課題が見えてきたか、そして、その課題をどのように解決すればよいかを明確にする作業が必要になる。

しかしながら、こういった作業を行っているところはほとんどなかった。イレギュラーな状況であるからこそ、PDCAに基づいた自己点検・評価が必要になる。令和2年度の経験をふり返って課題と解決策を明確にして、効果的な取り組みにつなげて頂きたい。

また、コロナ禍のため「できないこと」に目が向きがちだが、「コロナ禍だからこそできること」や「コロナ禍だからチャンスになること」があるだろう。コロナ禍を1つの転機にして、新しい取り組みに着手したりこれまでの取り組みを見直したりする柔軟性も必要であろう。

2. 「敦賀市教育振興基本計画の進行管理及び自己点検・評価調書」について

本調書では、それぞれの基本施策が実現されているかどうかを点検・評価する必要がある。外部委員としては、本調書の「実績」のみならず「計画の分析と評価」にも注目し、基本施策に資する取り組みが効果的に行われたのかが見られている。

しかしながら、この「計画の分析と評価」が必ずしも十分になされているとはいえない。生涯学習課やスポーツ振興課のように丁寧な分析・評価を行っているところがある一方で、情報が不足しているところが見受けられる。例えば、ただ単に「〇〇を実施した」「××に取り組んだ」と書かれただけのところが散見される。「計画の分析と評価」では、単に事業の内容を書くだけでなく、基本施策を実現するためにどのような工夫を行ったのか、その結果どのような成果が得られ、どのような課題が残されたのか、など、できるだけ具体的に書いて頂きたい。そうでないと、基本施策を着実に、効果的に実行できているかどうかを点検・評価することが難しくなる。

また、「計画の分析と評価」の文言が、前年度と同じところが複数ある。これは昨年と一昨年にも指摘したことである。基本施策をより高いレベルで実現しようと努力しているなら、この文言は毎年違って来るはずである。以前と同じ文言であると、そういった努力をしていないと受け取られてしまう。

第1期計画の締めくくりでもあるので、ここで改めて「何のための自己点検・評価なのか」を確認して頂きたい。自己点検・評価は、ただ文書を作成しさえすればよいというものではない。様々な仕事に追われて多くの時間を避けたいことはよくわかるが、この制度を是非有効に活用してほしい。そのために、今一度自己点検・評価の意義と目的を確認して頂きたい。

各課に関する意見

【教育総務課】

- ・所管事務が滞りなく行われていることが窺える。
- ・「敦賀市教育委員会事務の自己点検・評価報告」の「自己点検・評価報告書（まとめ）」において、課題を明確に書いてほしい。
- ・各課に報告書の作成を依頼する時に、自己点検・評価の意義や目的を伝えてほしい。

【学校教育課】

- ・「教育振興基本計画」において目標値を上回ったところが複数あり、評価される。
- ・毎年指摘しているが、「敦賀市教育委員会事務の自己点検・評価報告」の「自己点検・評価報告書（まとめ）」において、課題を明確に書いてほしい。
- ・「敦賀市教育振興基本計画 進行管理及び自己点検・評価調書」の「計画の分析と評価」の欄が毎年同じような内容である。
- ・同欄において情報が少ない。ただ単に「〇〇を実施した」「××を行った」と書くだけでなく、基本施策を実現するためにどのような工夫を行ったのか、その結果どのような成果が得られ、どのような課題が残されたのか、など、できるだけ具体的に（説得的に伝わるように）書いてほしい。

【生涯学習課】

- ・「敦賀市教育委員会事務の自己点検・評価報告」の「自己点検・評価報告書（まとめ）」や「敦賀市教育振興基本計画 進行管理及び自己点検・評価調書」の「計画の分析と評価」において、詳細な点検がなされている。
- ・コロナ禍で難しい状況の中、感染対策を講じながら教室等を実施した。
- ・令和2年度はイレギュラーな状況のため実績の評価ができないが、令和元年までの実績は目標値から遠ざかっている。第6次総合計画全体をふり返り、時期計画に活かしてほしい。
- ・コロナ禍でのストレスや不安、これからの生き方や社会の方向性など、コロナ禍だからこそ重要なテーマが多くあると考えられる。社会教育と結びつけて事業を展開してはどうか。
- ・少年愛護センター：個票の「今後の方向」で示されている「インターネット機器による青少年の生活形態やそこから発生する問題に対応するための活動の考案」と「青少年健全育成行事の本来的な意義と内容の合致等の見直し」が長年実現されていない。道筋をつけて頂き、新しい取り組みを期待したい。

【文化振興課】

- ・文化財の指定・登録数が目標値を上回った。高く評価される。
- ・個票において「成果の分析と評価」と「今後の方向性」が明確に記述されている。点検と評価が適切になされていると評価できる。
- ・博物館に関して、学校教員向けの利用手引きの作成、メディア発信による積極的な広報、ホームページ開設など、新しく有効な取り組みを行った。高く評価される。
- ・博物館のアンケート結果も高い値である。
- ・他方、令和元年度までの文化行事参加者数が目標値に遠く届いていない。第6次計画で見えた課題を解決し、次期計画に活かして頂きたい。

【スポーツ振興課】

- ・「自己点検・評価報告書（まとめ）」において、唯一、総合計画の最終年度にあたることを意識した記述を行っていた。
- ・令和元年度までの各事業参加者数を見ると目標値から遠ざかっている。第6次総合計画全体をふり返り、時期計画に活かしてほしい。
- ・健康作りや体力作りに関連して、コロナ禍だからこそ必要な（あるいは、コロナ禍だからできる）取り組みがあるか検討してはどうか。

敦賀市教育委員会の自己点検・評価報告書に対する外部の知見

福井県立大学 桑原 美香

I. はじめに

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策に追われた1年となった。とりわけ4月、5月の外出抑制は、民間企業のみならず公の施設においても多大なる影響があったと考えられる。国や県による急な変更や決定により、その対応に時間や労力が費やされたのも事実である。以下は、そうした見えにくい形での対策努力を十分に理解したうえで、敢えて異なる観点からの評価とさせていただきます。今後、良くも悪くも、感染症の収束後はこれまでとは異なる価値観や、ライフスタイルを持つ時代になる。そうした変化に対応した仕様へと変えてゆく準備ができているかどうか問われる。「コロナ禍だったからできなかった」ではなく、限られた条件下でできる「コロナ禍だからこそ行すべき取り組み」を模索したかどうか重要であろう。

II. 自己点検・評価の視点

今回の自己点検・評価は、貴市教育振興基本計画、総合計画の区切りの年となった。それゆえ、これまでの5年間を振り返り、成果がみられた事業と、そうでなかった事業との分析が欲しかった。単に目標値や入館者数の前年度比が重要なのではなく、変化した背景として誰がどのように行動したためか、という点まで考察できているかが重要である。感染症対策で事業の成果が分かりづらくなっているが、安易にそれを理由とすると見誤ってしまう。

また、各個票の「中長期的な検討課題」欄に関しては、当該事業の視点から3～5年後を想定するのではなく、今後の変化から逆算して当該事業に及ぼされる影響を織り込む想像力が必要である。例えば、貴市や福井県の大きな変化として北陸新幹線の敦賀駅までの延伸が挙げられる。そうしたイベントが各事業にどう影響するか、そのためにどのような準備をしておくべきか、そうした視点がほしい。

また教育にまつわる変化としては、文部科学省の方針であるGIGAスクール構想やアクティブラーニングの導入、ふるさと教育推進、プログラミングや英語の必修化等が挙げられる。GIGAスクールに関しては、アクティブな学びを促すデジタル教科書・副教材の活用にあたり、教員側の能力のみならず生徒側の倫理観を含めたリテラシー教育が整えられるか、といったことも急務であろう。ハード面からは、デバイス整備には補助金が活用できたものの、今後の更新費用やコンテンツのライセンス利用料を払い続けられるのか、むしろ既存コンテンツをアナログに整備する方が市の規模に合っているのではないかなど、取捨選択も必要となる。現行の延長で未来を描くのではなく、未来から現在を逆算する発想が必要である。

別の観点からは、インターネット環境やライフスタイル等の社会の変化が考えられる。SNS上のいじめ等、大人からは見えにくく犯罪化しつつあるものに対して、当該事業としてどう対策をしてゆくべきか、家族形態の変化に伴う子どもの生活環境変化に対して、市としてどこまで対応でき、別組織や民間等との連携による解決策がない

か、そうした検討の可能性も書き込んで欲しい。

最後に、今後 Z 世代以降の割合が増すと、価値観や消費行動にも変化が起こるであろう。「映える」コンテンツを撮るためだけに出かけたり取り寄せたりすることには意欲的だが、基本的には財布の紐が堅い、独特なコストパフォーマンスの考え方を持つ人々が増えるということである。そうした人々に向ける情報は、既存の広告宣伝では届かない。そのため、まずは各施設の来館者データや既存のアンケート調査結果を分析し直し、どの年代が何に興味を持ち、いつ、どのような交通手段で施設を訪れるのか、どのような媒体から情報を得ているのか、細かく把握する必要がある。それにより、テストマーケティング等で変化を把握したり、空白となっている潜在的利用者を想定したりすることができ、該当者にピンポイントに届けられる施策を練ることができるのではないだろうか。情報の溢れる世界で見つけてもらうためには、公共施設であっても「待ちの姿勢」では生き残れないだろう。

Ⅲ. 個別評価

【教育総務課】

当該年度は、小中学校統廃合に伴う工事進捗管理、感染症対策への迅速な対応と教員研修のオンライン化等、例年とは異なる新業務が多くを占めたと考えられる。次年度も予測のつかない状況ではあるが、「学校施設長寿命化計画」と「公共施設等総合管理計画」とを突き合わせしながら、残存耐用年数までの過渡期の対応をパターン分けして備えておくべきであろう。

【学校教育課】

当該年度は、大幅な変化を迅速に行うことが求められ、個々の教職員の負担が増し、働き方改革の流れと逆行した。一方、オンラインによる出張負担の軽減や、今後の GIGA スクール定着により、児童・生徒の個性に合わせた学びのスピードやスタイルが、教員の本来業務時間確保に繋がることが期待される。ただし、この体制が財政的に継続可能であるのか、効果的に利活用できているのか、今後のための検証が待たれる。

【学校給食センター】

学校給食の重要性は年々増している。一方で地域経済の変化により、食材料のロジスティックスも広域化、外部化が進んでいる。そのため、当該事業の目的も、時間通りに配食を完了し食中毒を起こさせないための管理だけではなくなりつつある。感染症対策のための給食提供の変化による業者の経営圧迫や、今後の業者や調理員不足等が危惧される。一方で、業者側の過失であっても学校等に法的責任が問われることもある。そうした地域経済や、近隣県の判例から想定されるリスクも考慮しつつ、体制を整えていただきたい。

【生涯学習課】

例年、各種講座・教室には工夫が見られ、居場所づくり、地域づくりの拠点が形成されてきた。加えて、「集まる」ことが制限・敬遠される時代において、当該事業の重要性は改めて多くの人に再認識されたことと思われる。「多人数を一同に集めない」

ことを前提としたアプローチは続けていただきたい。一方で今回の禍を、これまで来館したことのない層を取り込む機会と捉え、どのような伝達・開催手法が使えるか、講座内容が求められているのか、より一層の工夫も期待している。

【プラザ萬象】

数値だけを見ると利用者数が大幅に減ったように見えるが、例年とは人数換算の方法が異なるとのこと、分析の箇所にもそうした注釈をつけ、感染症対策による影響を除いた際に、どのような利用者が継続利用されるのか割り出しておく必要があるだろう。オンライン会議の簡便さが浸透し、今後は会議利用としての貸館業務が変わる可能性がある。一方で、ホール利用時のオンライン同時開催といった要望があるかもしれない。北陸新幹線延伸時までには駅からの利便性という強みをどう生かせるのか、攻めの姿勢が期待される。

【少年愛護センター】

近年、家庭環境の悪化による行き場のない子どもの矛先が多くの凶悪犯罪へ向きつつある。しかし、ITをつかったいじめや犯罪等は、加害者側の直接関与を示しにくいことや、被害を世界に拡げてしまうこと等、従来型の思考をはるかに超えてくる。補導巡視による未然防止や、青少年有害情報に対する事業者側への声かけ、親世代への注意喚起等、手を尽くされていることは窺い知れる。急速な変化に対応するためにも、オンライン上の巡視の検討や、他機関との連携による子どもの居場所づくりの拡充等期待している。

【図書館】

利用者数は減少したものの、のべ貸出冊数に大幅な変化はなかったとのこと、貸出冊数や期間を工夫されたことが奏功したと考えられる。また、家庭等でのインターネットの利用状況に鑑み、視聴覚コーナーの改変を行われた点は評価される。視聴覚資料を地元新聞や郷土資料類に絞られ、トレンドに合わせた児童書を充実しておられる点に関しても工夫がみられる。

【少年自然の家】

例年の施設利用者の属性を熟知しておられ、利用目的とその目的達成のために十分でない設備機器等の検討も進められているとのこと、しっかりと分析と対策がなされている。さらに、学習会や研修会といった、今後増加する需要についても検討がなされている。県内の学校や県外団体の利用者の回復までには時間がかかると考えられるが、今後は、それらを見据えたりピーター維持の施策も盛り込んでいただきたい。

【文化振興課】

近年の来館者特性を、機動的流行に左右され狭い範囲で深い興味を持っていると分析し施策を練っておられる点で今後は期待される。金ヶ崎城跡や敦賀水戸烈士関連等、感染症の影響で時機を逃してしまった点は大変悔やまれるが、上述の顧客層に届くよ

う、細く長く発信し続けていただきたい。つるが芭蕉紀行俳句大会に関しては投句数が伸びているとのこと、児童クラブとの連携等、継続的な取り組みが繋がっていると考えられる。

【博物館】

ホームページを新設され、子ども向けガイドブックや、教員向け博物館利用手引き、収蔵品データベース等も公開・拡充されており、大変評価される。ガイドブックは手にしたくなるようなオシャレな表紙で、詳細な歴史年表や当日の写真が示されており、むしろ大人に受けが良いかもしれない。PDFで公開されている点も高評価である。敢えて、今後の展開を求めるならば、校外学習との連携に特化した科目・学年ごとの学指導案の事例提案や、来館教員との共同研究やプログラム開発等を通して、教員向け手引きのブラッシュアップが望まれる。今年の懸念事項であったデジタルアーカイブ事業が進んだとのこと、教室でもつかえるコンテンツとなることを期待したい。

【みなとつるが山車会館】

行事の中止や旅行客の減少による来館者数、入館料への影響はかなり大きかったようだが、一方で県内学校の修学旅行客が増えたとのこと、潜在的な顧客へのPRへと繋げられることを期待する。大規模シアターを設置する計画もあるとのことだが、ハードのメンテナンスのみならず、動画コンテンツの拡充や定期的な更新も計画的に行っていただきたい。以前、来館していただければ満足していただけるコンテンツを揃えている自信はあると伺ったが、感染症の収束を見据えた下準備を着々と進められることを期待している。

【スポーツ振興課・総合運動公園】

利用者数の目標値と未達成数に関して詳細な記述しておられ、その原因についても言及されている。ただ、現下の非常時において未達であること自体は問題ではない。どのような利用者(団体)が利用継続されたか、開催できなかったセミナー等は代替案がなかったか、何を導入すれば開催の可能性があったか、そうした検討が次年度に活かされる。自己点検・評価は、中長期的に検討してゆくべき課題を洗い出す作業であり、そうした記述をするよう心掛けていただきたい。

敦賀市教育委員会事務の自己点検・評価

■なぜ自己点検・評価をするのか？

- ◇ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律により規定されています。
- ◇ 法の趣旨は、市民への説明責任、効果的な教育行政の推進にあります。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会の責任体制の明確化が謳われ、平成20年4月1日から、教育委員会の活動の自己点検・評価を行うことが義務付けられ、議会に報告し公表することとされました。

また、これを行うに当たって、学識経験者の知見を活用することとされました。従って、当市においても、平成20年度から自己点検・評価を実施しています。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

■何を評価するのか？

- ◇ 教育委員会の権限に属する事務の管理・執行状況について評価することになります。

教育委員会の権限に属する事務とは次のとおりです。

地方自治法 第180条の8に教育委員会の事務について規定があります。この中の「別に法律の定めるところ」とは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」も指しており、第21条に教育委員会の管理・執行する事務の内容が規定されています。

【参考】 地方自治法 抜粋

第180条の8 教育委員会は、別に法律の定めるところにより、学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱い及び教育職員の身分取扱いに関する事務を行い、並びに社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を管理し及びこれを執行する。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 抜粋
(教育委員会の職務権限)

第21条 教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に掲げるものを管理し、及び執行する。

- (1) 教育委員会の所管に属する第30条に規定する学校その他の教育機関（以下「学校その他の教育機関」という。）の設置、管理及び廃止に関すること。
- (2) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の用に供する財産（以下「教育財産」という。）の管理に関すること。
- (3) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- (4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。
- (5) 教育委員会の所管に属する学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。
- (6) 教科書その他の教材の取扱いに関すること。
- (7) 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
- (8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。
- (9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。
- (10) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。
- (11) 学校給食に関すること。
- (12) 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。
- (13) スポーツに関すること。
- (14) 文化財の保護に関すること。
- (15) ユネスコ活動に関すること。
- (16) 教育に関する法人に関すること。
- (17) 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。
- (18) 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- (19) 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。

(事務の委任等)

第25条 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その権限に属する事務の一部を教育長に委任し、又は教育長をして臨時に代理させることができる。

- 2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる事務は、教育長に委任することができない。
 - (1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。
 - (2) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。
 - (3) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。
 - (4) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
 - (5) 次条の規定による点検及び評価に関すること。
 - (6) 第27条及び第29条に規定する意見の申出に関すること。
- 3 教育長は、教育委員会規則で定めるところにより、第1項の規定により委任された事務又は臨時に代理した事務の管理及び執行の状況を教育委員会に報告しなければならない。
- 4 教育長は、第1項の規定により委任された事務その他その権限に属する事務の一部を事務局の職員若しくは教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員（以下この項及び次条第1項において「事務局職員等」という。）に委任し、又は事務局職員等をして臨時に代理させることができる。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律を受け、敦賀市教育委員会教育長事務委任規則及び敦賀市教育委員会事務局組織規則を定め、事務の具体的な内容を示しています。また、施設の設置条例において、設置の目的など重要な事項を規定しています。

【参考】 ○敦賀市教育委員会教育長事務委任規則

平成 15 年敦賀市教育委員会規則第 13 号

(教育長への委任)

第 2 条 教育委員会は、その権限に属する事務のうち、次の各号に掲げる事項を除き、教育長に委任するものとする。

- (1) 教育行政の運営に関する一般方針を定めること。
- (2) 教育委員会の所管に属する学校、公民館その他の教育機関(以下「教育機関」という。)の設置及び廃止に関すること。
- (3) 県費負担教職員の懲戒、任免その他の進退について内申に関すること。
- (4) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。
- (5) 教育長並びに教育委員会事務局及び教育機関の課長補佐(同等の者を含む。)以上の職員の任免に関すること。
- (6) 前 3 号に定めるもののほか、人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと。
- (7) 重要な教育機関の財産の取得について、市長に申出を行うこと。
- (8) 教育委員会規則等の制定又は改廃を行うこと。
- (9) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について、市長に意見の申出を行うこと。
- (10) 法令、条例等に基づく各種専門委員の任命、委嘱等に関すること。
- (11) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。
- (12) 児童及び生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又は変更すること。
- (13) 教科用図書の採択に関すること。
- (14) 文化財の指定及び解除に関すること。
- (15) 請願、陳情、訴訟及び異議申立てに関すること。
- (16) 教育に関する表彰に関すること。
- (17) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。

教育委員会の事務と教育長への事務委任の関係は下表のとおりです。

(1)教育委員会の事務と教育長への事務委任の関係	
地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)	敦賀市教育委員会教育長事務委任規則
教育委員会の職務権限	教育長に委任されない事務
(1) 教育委員会の所管に属する第30条に規定する学校その他の教育機関（以下「学校その他の教育機関」という。）の設置、 管理 及び廃止に関すること。	1 教育行政の運営に関する一般方針を定めること。
(2) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の用に供する財産（以下「教育財産」という。）の管理に関すること。	2 教育委員会の所管に属する学校、公民館その他の教育機関（以下「教育機関」という。）の設置及び廃止に関すること。
(3) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。	3 県費負担教職員の懲戒、任免その他の進退について内申に関すること。
(4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。	4 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。
(5) 教育委員会の所管に属する学校の組織編制、 教育課程 、 学習指導 、 生徒指導 及び 職業指導 に関すること。	5 教育長並びに教育委員会事務局及び教育機関の課長補佐（同等の者を含む。）以上の職員の任免に関すること。
(6) 教科書 その他の教材の取扱いに関すること。	6 前3号に定めるもののほか、人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと。
(7) 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。	7 重要な教育機関の財産の取得について、市長に申出を行うこと。
(8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。	8 教育委員会規則等の制定又は改廃を行うこと。
(9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。	9 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について、市長に意見の申出を行うこと。
(10) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。	10 法令、条例等に基づく各種専門委員の任命、委嘱等に関すること。
(11) 学校給食に関すること。	11 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。
(12) 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。	12 児童及び生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又は変更すること。
(13) スポーツに関すること。	13 教科用図書 の採択に関すること。
(14) 文化財の保護に関すること。	14 文化財の指定及び解除に関すること。
(15) ユネスコ活動に関すること。	15 請願、陳情、訴訟及び審査請求に関すること。
(16) 教育に関する法人に関すること。	16 教育に関する表彰に関すること。
(17) 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。	17 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
(18) 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。	
(19) 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。	

(注)点線は、一部分関連するもの

◇ 評価の対象となる事務は、「評価項目」として次のように分類します。

私達は、毎日、法令や規則に基づき事務を執行しています。事務の自己点検・評価を行う場合は、具体的で誰でも理解できるよう分類する必要があります。

それでは、どのように分類し、どのような評価項目を設定するかということですが、先に述べたように私達は法令に基づいて仕事をしています。仕事には必ず費用が伴いますので、予算の区分に従い分類することが簡単で評価しやすい方法です。また、毎年9月議会において、前年度の「主要な施策の成果に関する説明書」により議会へ報告しています。

この自己点検・評価報告書も、議会へ報告することとなっていますので、これを利用することによって議会への説明も容易になります。

従って、予算の事業名の小事業までを、「評価項目」とし、評価項目ごとに評価調書を作成します。

■誰が評価するのか？

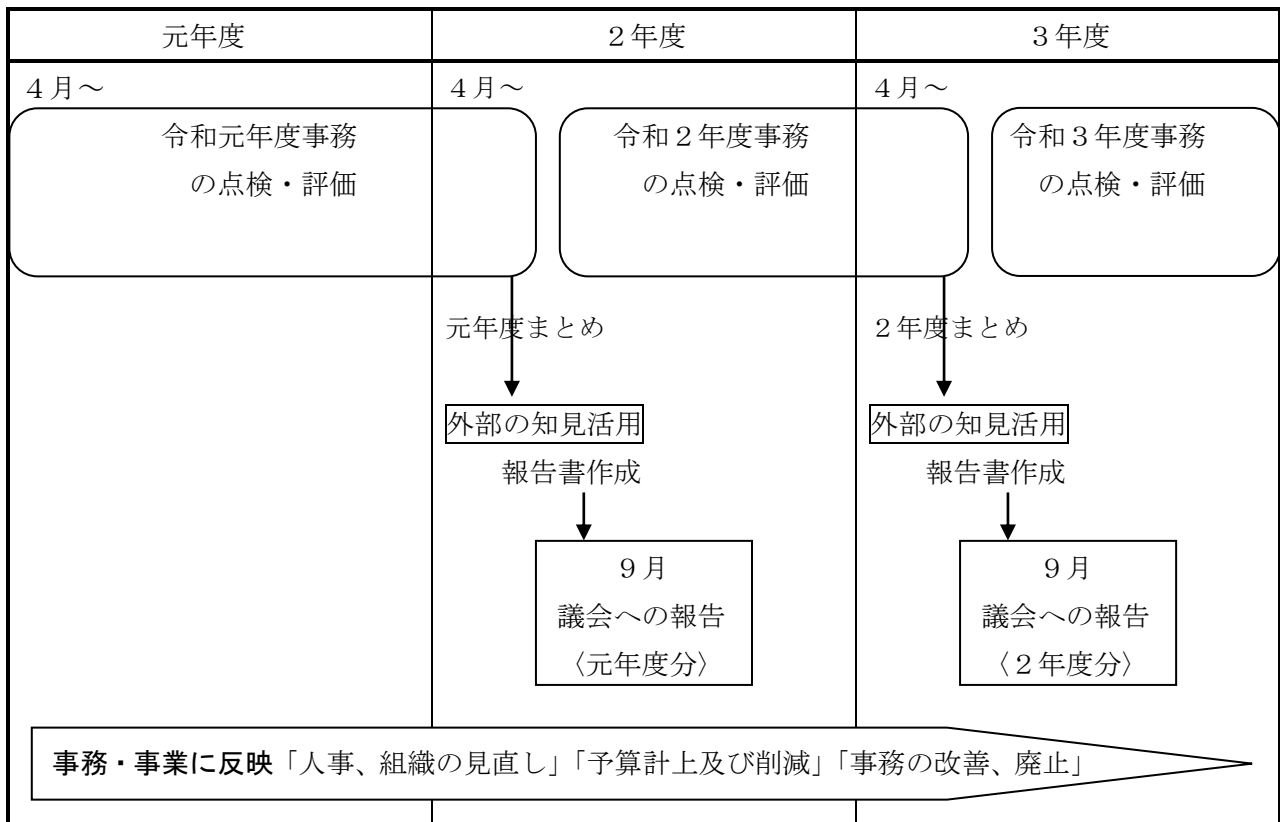
◇ 事務の点検・評価の担当者は、事務分掌における主担当者を中心に課（所）内にて一次評価します。 ※評価調書の作成

◇ 評価調書を教育総務課にて取りまとめたのち、有識者による外部評価（外部の知見活用）を行います。

■いつ評価するのか？

◇ 当該年度の翌年に、評価を実施することになります。

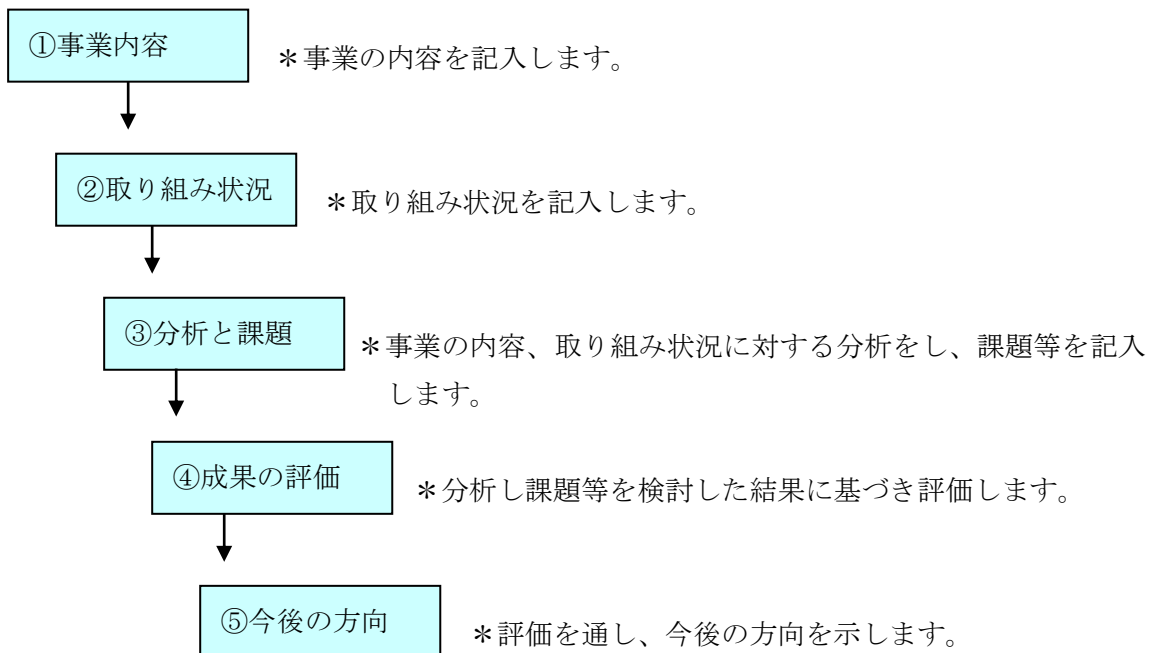
◇ 評価のスケジュール等については、次頁のとおりになります。



■自己点検・評価の方法

◇ 設定した評価項目について、次のように評価します。

評価項目を設定したら、評価調書を作成します。評価の流れは、次のとおりです。



評価の方法は次のとおりです。

1. 事業の概要と取り組み状況

- ・予算の事業の概要を記入します。予算の事業概要の欄に記入のない場合も記載します。
- ・取り組み状況は、具体的に実施年月、参加者数、購入量等を記載します。

2. 成果分析と評価

- ・前年度の評価において今後すぐに取り組む事項とした内容を記載のうえ、具体的な取り組みにつながった点と内容を記載します。

また、具体的な取り組みにつながらなかった場合もその内容を記載します。
総合評価は、以下の点等を考慮します。

- ・他自治体との比較 *先進的な取り組みか又は他市に遅れているかなど
- ・社会の動向や市民の要求に対する分析 *指標やアンケートなど
- ・情報公開、説明責任、環境に対する配慮など

3. 成果の評価

- ・分析した結果を有効性、効果性、効率性、について自己評価します。

判定の基準				
		A 前進	B 維持	C 後退
有効性		・計画通り目標が達成できたもの	維持	・目標を下回る結果に終わったもの ・目標が達成できなかったもの又は目標達成に目途が立たないもの
効果性		効果（予定通り進捗）があった	維持	効果がなかった
効率性	コスト	効率が良かった	維持	効率が悪かった
	人員	効率が良かった	維持	効率が悪かった

※「B 維持」判定は、どちらとも判断できないもの又は判定不能も含む。

4 今後の方向

- ・①継続 ②完了 ③拡大 ④縮小 ⑤転換 ⑥中止 の6項目で示します。
- ・項目の内容を、「すぐに取り組む事項」と「中長期的な検討課題」として具体的に記入します。

■外部評価は誰がするのか？

◇ 自己点検・評価に対する外部の知見の活用について、外部組織から委員を選任します。

- (1) 外部評価の組織の決定
- (2) 評価者の選任
- (3) 評価会議の設置・開催
- (4) 評価会議の意見書のまとめ

■報告書の作成

◇ 評価調書をまとめ外部の知見を盛り込み報告書を作成します。

■議会への報告書の提出と公表

- (1) 報告書の提出

報告書は、毎年9月議会に提出します。

- (2) 報告書の公表

報告書は、ホームページにおいても公表いたします。

■評価結果を活かすには

◇ 評価結果を事務に反映します。

- (1) 人事、組織を見直します。
- (2) 予算の計上又は削減をします。
- (3) 事務の改善、廃止をします。

◇分類表

大項目	中項目	小項目	担当課	
I 教育委員会が管理・ 執行する事務	1	教育行政の運営に関する一般方針を定めること。	(1)教育振興基本計画の策定 (2)教育要覧の作成	教育総務課
	2	教育委員会の所管に属する学校、公民館その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。	(1)学校の統廃合 (2)学校の適正配置 (3)公民館の設置 (4)教育機関の設置及び廃止	教育総務課 学校教育課 生涯学習課
	3	県費負担教職員の懲戒、任免その他の進退について内申に関すること。		学校教育課
	4	県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。		学校教育課
	5	教育長並びに教育委員会事務局及び教育機関の課長補佐以上の職員の任免に関すること。		教育総務課
	6	人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと。		教育総務課
	7	重要な教育機関の財産の取得について、市長に申出を行うこと。		全課
	8	教育委員会規則等の制定又は改廃を行うこと。		教育総務課
	9	教育予算その他議会の議決を経るべき議案について、市長に意見の申出を行うこと。		全課
	10	法令、条例等に基づく各種専門委員の任命、委嘱等に関すること。		全課
	11	校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。		学校教育課
	12	児童及び生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又は変更すること。	(1)通学区域審議会	学校教育課
	13	教科用図書の採択に関すること。		学校教育課
	14	文化財の指定及び解除に関すること。	(1)文化財の指定 (2)文化財の指定解除	文化振興課
	15	請願、陳情、訴訟及び異議申立てに関すること。		教育総務課
	16	教育に関する表彰に関すること。	(1)教育功労	教育総務課
	17	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。		教育総務課
II 教育委員会が管理・ 執行する事務を教育 長に委任する事務	1	教育財産の管理に関すること。		全課
	2	学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。		学校教育課
	3	学校の教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。		学校教育課
	4	教科書その他の教材の取扱いに関すること。		学校教育課
	5	校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。		教育総務課 学校教育課
	6	校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。		学校教育課
	7	学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。		全課
	8	学校給食に関すること。		学校教育課
	9	青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。		生涯学習課
	10	スポーツに関すること。		スポーツ振興課
	11	文化財の保護に関すること。		文化振興課
	12	ユネスコ活動に関すること		学校教育課
	13	教育に関する法人に関すること		教育総務課
	14	教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。		教育総務課
	15	所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。		全課
	16	前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。		全課

Ⅲ 上記に分類されない ものとして、教育委 員会自身の活動	1	教育委員会の会議	(1)教育委員会会議の開催	教育総務課
	2	教育委員の研修		教育総務課